

# wellvoice

むらやま市民討議会

市議会と市民の関わり

(2007年9月22日実施)

## 報告書



社団法人立川青年会議所  
きづく・たちかわ委員会  
協力・武蔵村山委員会

# もくじ

---

はじめに	1
市民討議会とは	2
市民討議会の特徴	2
開催までの経緯	3
運営の結果	4
開催前の準備	4
開催当日	6
テーマ討議の実施結果と考察	9
実施後の評価と今後の課題	12
参加者のアンケートから	12
実施後の評価と課題	13
今後の展開	15
まとめ	16
謝辞	16
資料編	17

## “wellvoice” の名称について

市民討議会に対する知名度や内容に対する認知度がまだまだ低い現在、「公開討論会」や「市民会議」などとの区別が付かず、浸透させる上での障害となるのではとの考えから、愛称をつけようという声があがりました。いくつかの案から、最終的に「wellvoice」の名称が選ばれました。

① “well(申し分なく)” と “voice(声)” を合わせた造語としての「よりよい声」として、② “well” のもう一つの意味である「井戸」にかけ、「井戸端会議」のように気軽に活発に意見を出し合えるような討議体としたい、との思いから命名しました。

## はじめに

各地の自治体において「住民との連携」をキーワードに、さまざまな市民参画への試みが行われておりますが、その手法の多くは、公募型の審議会や委員会などが主であり、そこで意見を述べるのは関係者や専門家などの特定の市民であることがほとんどではないでしょうか。

この為、さまざまな問題意識をもちながらも、普段住民票の交付行政との接点が少なく、実際には各々地域行政への取り組みに積極的に参画するまでには至らない多くの市民にとって、行政に参画する可能性は限られているのが現状です。このような皆さんを「受け手」のままにせず、もっと多くの市民の豊かな知恵と経験を引き出し行政に反映させることは、幅広く多様な市民に対応した行政サービスの提供を可能とし、それを市民が実感し参画意欲をさらに高めていく上で、重要なことと考えております。

昨年来からの試みに続き、今回初めての武蔵村山市で企画となる「wellvoice むらやま市民討議会」は、そんな市民の社会参画を目指す新たな試

みです。この事業は、無作為に選出し選ばれた市民により、地域や社会の問題について討議をし、得られた合意を行政・地域に提言していくものです。地域の課題などに対して「普通」の市民が抱く意識を広くくみとり、さらに地域社会への参画へと導く機会として、この市民討議会を多様な市民参画方法の一つとして、提案、実施していきたいと考えております。

今後も「wellvoice 市民討議会」を継続して開催し、行政や他団体との協働も視野に入れながら、よりこのまちに適した市民参画・地域課題の解決ツールとして発展させていきたいと考えております。ぜひとも皆様には、今後ともご理解を賜り、共にこの「wellvoice」を新しい社会のしくみとして確立できるよう、よろしくお願い申し上げます。

社団法人 立川青年会議所  
きづく・たちかわ委員会 委員長  
金子 幹広

# 市民討議会とは

地方分権の進む昨今、国や地方自治体でつくられる計画や条例などにおいて、市民の意見を取り入れる機会が増えてきました。

しかしその手法は、公募型の審議会や委員会などが主であり、そこで意見を述べているのは関係者や専門家などの特定の市民であるのが実状です。

個人の行政参画意識の高いドイツには「プランクスツェレ (Planungszelle)」と呼ばれる市民参画のシステムがあり、利害が複雑に絡む地域問題の解決などに大きな効果をもたらしています。解決しなければならない問題などを様々な視点から複数のテーマに分け、無作為に選ばれた市民や地域の住民がテーマごとに専門家などの意見を聞いた上で討議を行い、結論を導き、メディアなどを通じて発表していくものです。

市民討議会は、この「プランクスツェレ」を日本版にアレンジし、社会に定着させるための試みです。地域や社会が抱える問題を市民や地域住民が共有して考えるきっかけとなり、地域社会の再生の足がかりになるものと私たちは確信しております。

社団法人立川青年会議所では、より多く、幅広く市民のみなさんのご意見を伺う市民参画の方法として、「wellvoice たちかわ市民討議会」を開催し、社会に定着させていきたいと考えております。

## 市民討議会の特徴

### (1) 参加者の無作為抽出

市民の中から無作為に抽出された一定数（未成年者を除く）に開催の案内状をお送りし、参加者を募ります。

### (2) 参加者への有償性

多くの市民参加型事業とは異なり、討議会への参加者には日当・食事が支給されます。これはドイツのプランクスツェレと同様、金銭を支給

することにより参加者に「責任ある仕事」として取り組んでもらう点に重きをおいています。

### (3) 専門家による情報提供

討議の開始に先立ち、テーマに関する専門的知識をもった関係者を招き、参加者への情報提供を行います。情報の操作性をさげ、異なった意見を聞けるよう複数からの意見を伺います。

### (4) 討議・発表・投票

情報提供後、おおむね5人を1グループとした討議を行います。立川青年会議所では案内を受けた方の誰でも参加がしやすく、かつ市民討議会のしくみを知ってもらうために、75～90分の討議を1コマとし、午前・午後各1コマ、1日間の開催としています（プランクスツェレの場合は90分の討議を1コマとして1日4コマ、4日間にわたり行い、提言にまとめています）。

討議後にグループ単位による意見を発表した後、参加者全員による意見への投票を行います。賛同できる意見であれば他グループへの投票もできます。

### (5) 市民報告書の発表

討議・投票の結果をもとに意見の集約を行い、市民・行政機関・マスコミなどを通して提出公表を行います。

# 開催までの経緯

## 2005年

### (1) 東京青年会議所における開催

2005年7月に、社団法人東京青年会議所千代田区委員会の主催により、国内初の「市民討議会」が開催されました。「市民で形づくる行政－社会的支援すべき市民活動の課税問題」をテーマに2日間にわたり討議を行いました。

## 2006年

### (1) 3青年会議所合同事業の開催

4月に、財団法人日本青年館ホールにて、社団法人東京青年会議所、社団法人町田青年会議所との3青年会議所共催による合同事業「市民の声が“かたち”になる、新しい社会のしくみ」を開催しました。市民の社会参画の必要性、過去における参画の方法論についての『模擬討論会』を行い、市民の社会参画の必要性と市民討議会という手法の有効性を説くとともに、3青年会議所理事長によるパネルディスカッションを実施し、今後の市民討議会の開催、地域への浸透を目指した共同宣言を採択しました。

これを受け、立川青年会議所では実施に向けた本格的検討に着手しました。

### (2) wellvoice たちかわ市民討議会の開催

2006年度ゆめ かなえる委員会（矢澤貴光委員長）担当のもと、8月5日に立川市女性総合センターアイムにて多摩多摩地域では初の試みとなる「wellvoice たちかわ市民討議会」を開催しました。市内地番からの500世帯抽出・ポスティングによる参加者募集を行い、当日12名の参加により「市議会と市民の関わり」をテーマとする討議を行いました。

情報提供者として三葛敦志氏（国分寺市議会議員）、伊藤伸氏（構想日本 政策スタッフ）を招き、市議の立場からみた議会の姿や各国の地方議

会のしくみや報酬などについて説明をいただきました。また、立川市より企画政策課、議会事務局も傍聴に訪れました。

参加者の皆さんは初対面にもかかわらず、開始直後から積極的な意見を交わし、発表・投票を経て、「議会に関する情報をもっと積極的に公開べき」「議員・議会と市民の接点を増やす」などの意見傾向が得られました。

討議・運営の結果は『wellvoice たちかわ市民討議会 実施報告書』として立川市議会議員および議会事務局、立川市役所担当各課、マスコミ等に配布し提言を行いました。

## 2007年

上記の結果を受け、立川青年会議所では市民の社会参画を促す手法のひとつとして、事業運営全般を今年度の「きづく・たちかわ委員会」に引き継ぎ、今年度も市民討議会を開催し、制度の認知と充実を図ることとなりました。

### (1) wellvoice たちかわ市民討議会の開催

2月4日に立川市女性総合センターアイム5階第1・第2和室にて「駅前デッキと路上演奏・パフォーマンス」をテーマに開催し、市内1200世帯の無作為抽出・ポスティングを行い10名が参加しました。討議・運営の結果は報告書にまとめ、4月に行政・市議会・参加者・マスコミ等に配付し提言を行いました。

また5月27日にも「地域コミュニティの活性化」を題材にアイムにて開催し、1500世帯のポスティングに対し10名が参加しました。当日は大学教授・立川市担当者・実際にコミュニティ活動に携わる市民の方に情報提供を頂き、コミュニティが抱える課題、活性化に向けた方策等についての意見を述べ合いました。

# 運営の結果

## 開催前の準備

### ■広報

事業PRとして、A4 両面カラーのチラシを制作しました。



案内チラシ

### (1) チラシの配布

チラシは会場となる立川市女性総合センターアイムをはじめ、市内公共施設（連絡所・公民館等）への配置を行いました。

### (2) ホームページ

立川青年会議所のホームページ (<http://www.tachikawajc.or.jp/>) に市民討議会に関するサイトを開設し、今回の事業ならびに昨年8月・今年2・5月の開催報告を掲載しました。

### (3) 新聞記事

プレスリリースを行った結果、読売新聞社立川支局より問い合わせがあり、8月24日付朝刊地方面に開催に関する記事が掲載されました。

## ■無作為抽出による参加者募集

### (1) 住民基本台帳からの抽出

2005・2006年度に東京青年会議所千代田区委員会で開催された「市民討議会」や、昨年三鷹市において行政が中心となり開催された「みたかまちづくりディスカッション」では、無作為抽出の手段として住民基本台帳が利用されました。

立川での開催においても昨年来より、企画の段階にて抽出における台帳の利用を検討し、行政にも問い合わせを続けています。しかし、昨今の個人情報保護に関する諸問題から住民基本台帳の閲覧に対する制限が強化される中、行政との打ち合わせでも「『市民討議会』に対する認知度が高くない現段階においては、台帳利用に対して市民の理解を得るのは難しい」との見解もあり、現在のところ進展は見られていません。

また、今回武蔵村山市の後援はとれなかったこともあり、本方式は見送りとなりました。

### (2) 地番からの世帯単位による抽出

上記を受け、前回につづき市内の各町丁から無作為に地番を選び、当該世帯に直接案内状をポスティングする方法をとることとしました。この方法は厳密には完全な無作為抽出とはいえませんが、号数の指定にもランダムで数字をあてるなど、極力恣意性を排除するよう心がけました。

また、今回武蔵村山市で初めての開催にあたり、実験として市内300地番を抽出した上で、住宅地図を参照しながら各地点近隣の5世帯を割り当てることで計1500世帯に投函することとしました（ $300 \times 5 = 1500$ ）。5世帯の選定は基準となる地番から順番に5世帯（n号、n+1号、…）を選ぶことを原則としました。

今回本方式を試行する理由としては

- ①当委員会（きづく・たちかわ委員会）メンバーの武蔵村山市に対する地理勘の乏しさ、かつ初の開催で開催までの限られた時間における作業の迅速化という現実的な選択

②近所で話題に取り上げられることで連れだつての参加の可能性があるか、地域差が認められるかが挙げられます。

また、地番単位での無作為抽出を行う場合、集合住宅居住者への抽出確率が相対的に低くなることへの対策として、同一地番に多数戸の世帯がある場合は「集合住宅枠」としてあらかじめ一定の抽出枠を割り当てることにしました。対象住宅の選定は住宅地図記載の戸数を基準に決定しました。

武蔵村山市の世帯数(27,283)を配布世帯数(1,500)で除すとおおよそ18世帯に1戸の割合で届く計算になります。

$$27,283 \div 1,500 = 18.18\dots$$

今回は1地番当たり5世帯を選ぶこととしたため、90世帯以上の集合住宅を対象とすることにしました(18.18 × 5 = 90.90\dots)。

具体的には90戸以上の住宅に対して戸数を90で除し1を引いた数を割当枠としました。

(例) 300戸の住宅の場合

$$300 \div 90 - 1 = 2$$

今回この基準にはUR玉川上水エステート大南公園(大南4丁目)、むさしの住宅(学園2丁目)が該当しました。

なお緑が丘については、町内全域が都営村山団地に該当するため、抽出数(275)を先に決定し、新たに町内各棟ごとの世帯数に比例したランダム抽出を行いました。

- 抽出対象 武蔵村山市内全域
- 募集対象 市内在住の18歳以上の男女
- 抽出数 1,500世帯
- 対象者の抽出
  - 母集団 市内の全世帯
  - 地点数 300
  - 抽出法 層別二段無作為抽出  
(層別→地点抽出→対象世帯抽出)
  - 層別 市内の町丁を単位として
  - 層化 65地区

#### 地点数配分

各地区内の世帯数に応じて発生確率を比例配分

#### 対象者抽出

各地番にランダムで号数の末尾1桁を選定(例:9の場合は9号、19号、29号…のいずれか)

表1 市内各町の抽出ならびに出席回答数

町名	世帯数 <sup>*1</sup>	抽出数	出席返答
伊奈平	1,816	75	0
榎	2,343	45	0
大南	13,295	285	2
学園	5,892	145	1
岸	1,129	60	0
残堀	1,919	80	2
神明	1,286	65	0
中央	1,242	95	1
中藤	877	40	0
中原	1,624	95	0
本町	1,402	45	0
三ツ木	1,307	95	0
三ツ藤	1,716	100	3
緑が丘	8,391	275	0
横田基地内 <sup>*2</sup>	191	-	-
計	27,283	1,500	9

\*1 2007年7月1日現在(武蔵村山市サイトより)

\*2 今回投函対象から除外

### (3) ポスティング

ポスティングには以下の資料を同封しました。

- ・当日案内チラシ
- ・テーマ説明
- ・補足資料「ご案内を読んだ後に」
- ・過去の新聞記事抜粋
- ・返信用ハガキ(料金受取人払)
- ・返信用FAX用紙

ポスティング作業はきづく・たちかわ委員会の他、武蔵村山委員会メンバーの協力を仰ぎ、9月10～17日にかけて実施しました。事前に住宅地図を用いて確認の上投函を行いました。当該世帯が転居、もしくは空家や空地となっていた場

合は、そのまま持ち帰りました。

市内 1500 世帯へのポスティングを行った結果、合計で計 9 名より出席、1 名より傍聴の回答がありました。

表 2 参加者一覧

男性 (77)	大南
男性 (79)	大南
男性 (72)	学園
男性 (42)	残堀
男性 (61)	中央
男性 (66)	三ツ藤
男性 (68)	三ツ藤
男性 (78)	三ツ藤

## 開催当日

2007 年 9 月 22 日（土曜日）、武蔵村山市役所 4 階会議室にて、「市議会と市民の関わり」をテーマに、複数の情報提供を得た上で討議を行いました。

### ■会場

今回は洋室（テーブル・椅子形式）で設営しました。



討議会場

### ■討議の傍聴

今回はこれまでのような傍聴室は設けず、見学者は直接室内端の傍聴席より見学を行いました。

### ■運営人数

当日の運営は統括責任者以下、司会進行 1 名、参加者受付 2 名、傍聴者受付 2 名、カメラ操作 2 名、傍聴室 3 名の計 10 名にて実施しました。

### ■討議のグループ分け

今回は討議の単位として、4 名× 2 グループ（途中 1 名退出のため 3 名に変更）にランダムに分けました。グループ分けについては過去 2 回にない、午前の DISCUSSION 1 では先着受付順に A・B グループの順に分け、討議を行いました。

午後の DISCUSSION 2 では討議開始前に、再度くじ引きを行い、A・B グループの 2 グループを決定しました。DISCUSSION3 は

DISCUSSION2 のグループを引き継いだ形で行いました。

### ■タイムスケジュール

午前・午後とも討議 60 分（用紙への書き込み作業も含む）、発表 10 分以内×2 グループ、投票 15 分にて行いました。開始時に討議の進め方、発表・投票の流れに関する説明の時間を設け、スムーズな進行ができるよう配慮しました。【前ページ図】

### ■情報提供・専門家への質疑

今回の情報提供は午前・午後各 2 名により、

討議の前にそれぞれ行いました。午前は天目石要一郎氏（武蔵村山市議会議員）、伊藤伸氏（構想日本）、午後に三葛敦志氏（国分寺市市議会議員）・伊藤氏による説明を受けました。

情報提供終了後、若干の質疑時間を設定しました。質疑の内容については、説明の中での不明瞭な部分に関する質問のみにとどめました。

なお討議開始後も情報提供者は引き続き会場にとどまり傍聴するとともに、必要に応じ参加者からの個別質問に対する補足等を行いました。

## 計 画

## 実 施

10:00	開会 ご挨拶・ご説明	開会 ご挨拶・ご説明	10:00
	情報提供 武蔵村山市議 天目石要一郎氏 構想日本 伊藤 伸氏	情報提供 武蔵村山市議 天目石要一郎氏 構想日本 伊藤 伸氏	
11:00	DISCUSSION 1 討議 現在の市議会と市民の 関わり— その課題・ありかた	DISCUSSION 1 討議 現在の市議会と市民の 関わり— その課題・ありかた	11:00
12:00	発表	発表	12:00
	投票・昼食・休憩	投票・昼食・休憩	
13:00	投票結果解析	投票結果解析	13:00
	情報提供 国分寺市議 三葛 敦志氏 構想日本 伊藤 伸氏	情報提供 国分寺市議 三葛 敦志氏 構想日本 伊藤 伸氏	
14:00	DISCUSSION 2 討議 市民からできること、 市民に求められること	DISCUSSION 2 討議 市民からできること、 市民に求められること	14:00
15:00	発表	発表	15:00
	投票・アンケート記入	投票・アンケート記入	
16:00	投票結果解析 総評・謝辞 閉会	投票結果解析 総評・謝辞 閉会	16:00
17:00			17:00

タイムスケジュール

計画との比較



情報提供者による説明

### ■事前の自己紹介

これまで同様、名札の着用と互いに「～さん」付けで呼び合うとの事前ルールの説明のみですぐに討議に入りました。

各グループとも討議冒頭より積極的な意見が飛び交い、初対面に関係なく事前の趣旨・要領説明で対応できました。

### ■討議形態

討議の間、グループごとのファシリテータはとくにおかず、室内の運営スタッフが情報提供者への取り次ぎ、その他討議運営上の補足等の対応を行いました。

2月実施時と同様、グループごとに大判の付箋紙を用いて、意見を出し合い討議の上、意見を最大5つに集約しました。また「残したい意見」(付帯意見)として用紙下部に記入欄(3ヶ所)を設け、より多彩な意見を表明できるようにしました。



討議のようす

### ■討議結果の発表

各グループにて、討議で表出された意見をあらかじめ準備したA0判の模造紙にサインペンで書き、室内中央に設置したホワイトボードに掲示の上、グループ単位で意見発表を行いました。発表は1グループ5～10分で、各グループから代表者が掲示板前に立ち、行いました。

### ■投票

各グループの発表後、参加者10名による投票を実施しました。1つの課題(小テーマ)に対してひとりあたり5票をもち、各グループより発表された意見に対する賛成票を投じました。

### ■その他

当日はJCNマイテレビより取材を受けました。討議の様子は9月24日より約1週間、1分間のニュースとして1日に2回ほど報道されました。

# テーマ討議の実施結果と考察

## テーマ設定の背景

今回、市民討議会のテーマとして「市議会と市民の関わり」についてとりあげました。

4月に武蔵村山市議会議員選挙が行われましたが、20名の定数に対して現職・新人あわせて立候補者が20名、無投票により全員が当選という結果に終わりました。これは1970年の市制施行以来はじめての事態であり、都内の市では初の出来事です。

「政治離れ」が叫ばれて久しい昨今ですが、もっとも私たちに身近な代議制であるはずの地方議会が、今回、なぜこのような結果を招いたのでしょうか。

この武蔵村山市に暮らす有権者の皆さんはどのようにお考えでしょうか。今回の原因、その背景について、市民・行政・議会、それぞれ立場は違えども、何らかの問題意識を持たれた方は決して少なくないと思います。

今回、地方議会に関する専門家や、現職市議会議員の方からの情報提供を交え、地域に関心がある人、ない人、そしてほどほどの人、無作為抽出に集まった市民の皆さんで意見を交えてみてはどうかと考え、今回のテーマとした次第です。

なお、この「市議会と市民の関わり」は、昨年8月に立川市で初めて開催した際のテーマでもあり、同一テーマの討議による地域差についても比較を行うことも企図しました。

## 情報提供者・資料提供について

情報提供者として、伊藤伸氏（構想日本 政策スタッフ）を招き、地方議会制度の概要・現状、国際比較についての情報提供を受けました。また、三葛敦志氏（国分寺市市議会議員／国分寺青年会議所所属）より、議員の側から見た市議会についての概論を説明いただきました。なお伊藤・三葛

両氏は昨年8月の「wellvoice たちかわ市民討議会」に続き、再度のご登場となりました。

さらに今回は、地元市議の立場から見る実際の仕事についての説明についても、天目石要一郎氏（武蔵村山市議会議員／立川青年会議所所属）から情報提供を受けました。

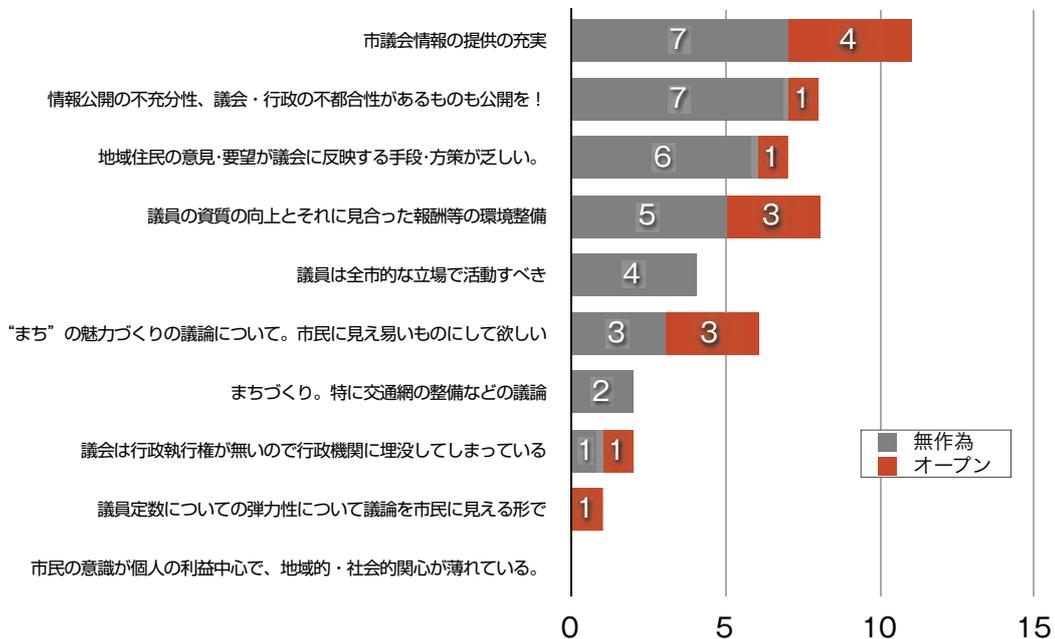
## 得られた意見の傾向について

午前・午後にわたる討議の結果、次ページ以降に示す意見の傾向が現れました。これらの結果が導かれるまでに、午前・午後それぞれ7名の武蔵村山市民が2つの課題について同様に議論し、意見発表を行いました。

同時に、オープン参加として、市内在住1名を含む学生3名（午後は2名）が3番目のグループとして、討議に参加しました。

次ページ以降に、両課題における参加者の意見傾向を載せました。投票は無作為抽出から参加者7名が各々5票を投じ、各課題とも投票総数は35票となります。またオープン参加による午前3名、午後2名の投票結果についても、参考までに色分けして掲載してあります。

## DISCUSSION 1 現在の市議会と市民の関わり、その課題・あり方



### DISCUSSION 1

#### 現在の市議会と市民の関わり、その課題・あり方

今回、都内市部では初の無投票当選となった武蔵村山市議会。地方自治・地方分権が叫ばれながら、前例のないこの事態の背景には、いったいどんな原因が考えられるでしょう。

また、専門家からの情報提供もふまえ、現在の市議会（地方議会）の仕事と報酬の関係、議会の定数など、さらによりよい議会のありかた…などなど、グループの皆さんで自由に話しあい、意見をまとめてください。

#### 【結果】

「市議会情報の提供の充実」（7票）「議会・行政の不都合性があるものも公開を」（7票）、「まちの魅力づくりの議論について、市民に見えやすいものに」（3票）と、参加者からは現在の情報公開に満足していない現状が見られました。

「住民の意見・要望が議会に反映される手段・方策が乏しい」（6票）という意見にも票が集まりました。この原因の一つには、行政に意見を表

明する現行の住民参加のしくみであるはずの「請願・陳情」というシステムが正しく機能していないことが考えられます。これも認知が十分でないことに起因するのであれば、情報の不足として考えられます。

このほか、「議員資質向上と見合った報酬等の環境整備」（5票）「全市民的な立場で活動すべき」（4票）、議員のありかたに対する指摘も意見が集まりました。

オープン参加の学生・JCメンバーのグループからは、同様に、情報の公開、議員の資質向上に対して票が集まっています。

### DISCUSSION 2

#### 市民からできること、市民に求められること

当然のことですが、市議会議員は市民の中から選ばれます。市民を代表する議員を選ぶ上で、市民は権利の行使と同時に、「自らの意見意志をこの先4年間、この人にゆだねる」という意識が求められると思います。よりよい議会・よりよい

村山のまちを指向する上で、市民としては、どのような姿勢が求められるのでしょうか。

また、選挙・投票以外にも、普段から市民の立場でできること、市民自らがすべきことにはどのようなことが考えられるのでしょうか。

**【結果】**

設問も幅広く解釈できるため、意見が分かれましたが、大別して

- ①情報収集
  - ②意見表明・市民参加機会の拡大
  - ③コミュニティの形成
- が抽出されました。

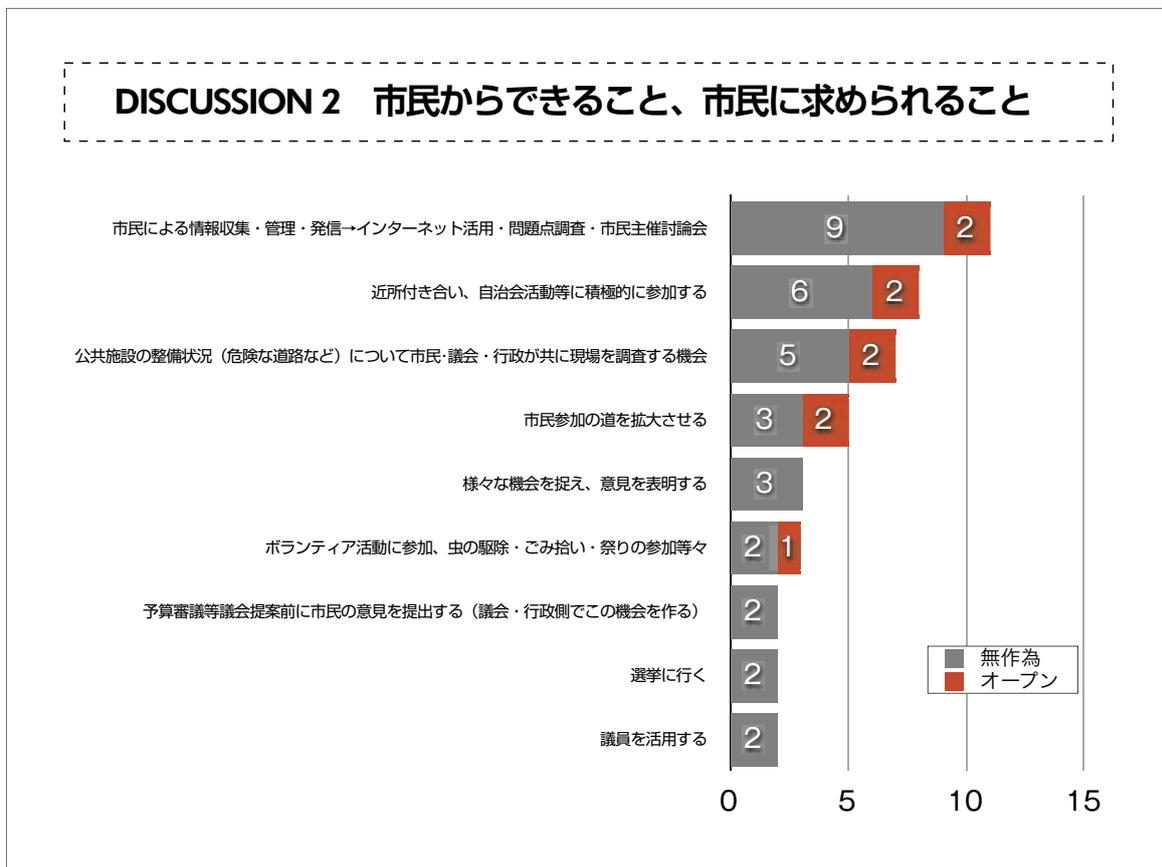
「市民からの情報収集・管理・発信」に最大の9票が集まりました。具体的にはネットの活用・調査、市民の側からの討論の必要性が挙げられています。

併せて「市民参加の道を拡大」(3票)「様々な機会を捉え意見を表明」(3票)と意見表明の機会に対する投票、具体的には「公共施設整備について市民・議会・行政が共に調査する機会」(5票)などが挙げられました。

行政に対してこのような機会を提唱し、形成を目指していくには、その前段において、やはり個々の市民の意見が集約され、表明されるためのしくみ・受け皿が必要になります。その意味において「近所付き合い、自治会活動等に積極的に参加」(6票)「ボランティア活動に参加」(2票)など、活動を通じたコミュニケーション、地域コミュニティ形成の必要性が求められているとも読み取れました。

**立川市での開催結果との比較**

昨年8月に立川市にて同じテーマ、同一情報提供者(伊藤氏・三葛氏)による討議会を行いました。小テーマの設問数・内容等が異なるため、単純な比較はできませんが、現状における「議会に関する情報の不足」という点で立川、武蔵村山で共通の認識が得られました。



# 実施後の評価と今後の課題

## 参加者のアンケートから

市民討議会終了後、参加者7名を対象にアンケート調査を実施しました。25項目について質問を行い、以下にその集計結果を示しました。

### (1) wellvoice むらやま市民討議会について

質問1「wellvoice むらやま市民討議会をご存知でしたか？」に対しては、7名のうち1名から「新聞等で知っていた」と回答がありました。昨年から通算4回目の開催で初めてです。立川市での開催が新聞の地域欄で何度か取り上げられたことや、他地域での市民討議会の開催などによって、少しずつですが認知がされてきているようです。

### (2) 市民討議会の印象

質問2「市民討議会の案内が届いたとき、どのように感じましたか？」に対しては5名が「まじめな案内」と回答し、参加者からは一定の理解をもって迎えられたようです。一方では「イメージとは少し違った」との回答も寄せられました。

質問5「参加されていかがでしたか？」については、「勉強になった」(5名)「楽しかった」(3名)「興味がわいた」(3名)と、おおむね好感触をいただくことができました。

質問7「テーマ設定について」では、4月の告示からすでに半年近くが経過していましたが、今回6名が「適切」と答えました。

その他、「次回も参加できるような設えを」というご意見もありました。社会参画を促進するという点からは、無作為抽出による参加者とは別に、前回までの討議会参加者にも案内を送り、希望者にオープンとして参加してもらうなど、運営面の工夫でさらに積極的に地域の問題等に関わる機会を提供することなども可能性として考えられました。

質問8「次回案内が届いた場合は？」の問いには「日程があれば」(4名)「テーマによって」(6名)と、これまでと同様、取り上げるテーマの関心度が参加数を左右する可能性が示唆されました。

### (3) 討議の進め方・設営面

質問9「情報提供者については？」では「わかりやすい」(6名)の一方で、「情報に偏り」(1名)、情報提供の時間が長引いたこともあり「話は時間内に」との声も複数頂いています。

質問10「討議時間」(今回60分)については、6名が「適切」と回答しました。

質問11「グループのメンバー数や雰囲気はいかがでしたか？」では、今回参加数の都合もあり4名・3名の設営となりましたが「和やかで話しやすい」「ちょうどよい」との意見をいただきました。

討議会場設定に関する設問(質問13)では、「疲れない」「高齢者に向いている」など、「どちらでもよい」を含め全員が洋室と回答しています。

### (4) 報酬

質問14「報酬」に対する質問では1名が「支払うべき」、2名は「不要」と回答しました。その他の回答は「どちらでもかまわない」との趣旨でした。質問15の金額については3名が「適切」1名が「多い」と回答しました(3名無回答)。

### (5) 討議の公開について

討議の様態を公開することの是非(質問16)については「公開」(6名)「非公開」(1名)と回答がありました。「公開すべき」としては情報の共有化・会議の認知度向上などがその意見として挙げられました。

### (6) 案内状の送付について

無作為抽出に対して住民基本台帳を閲覧するこ

とについては、6名が「妥当」と答えました。また、直接ポスティングによる投函と住宅地図を利用した郵送による送付の比較では、氏名を記入した郵送の方が「信用できる」（6名）と、これまでの開催時と同様の結果が得られました。

### (7) 開催日程について

開催日に関する質問では「土曜」（6名）「日曜」（2名）と答え、平日との回答はゼロでした。土曜が多い理由についてのコメントはありませんが、週休2日がほぼ定着した中、「出かけるのは土曜に、日曜は休もう」という点などが考えられます。

### (8) 今後のテーマについて

質問22「今後取り上げてほしいテーマ」には、「市政」「環境」（ともに4名）「教育」（3名）などに集まりました。

### (9) 参加動機について

質問24「これまで市やNPOのフォーラム・討論会などに参加は？」では「ある」は2名でした（老人会・社会福祉協議会など）。「ない」と回答した方（4名）の動機（「自分を変えるきっかけ」「今までこのような場に出る機会がなかった」など）から、社会参画を推進するという上でのきっかけづくりとして、本企画が微力ながら役に立つことができたようです。

### (10) その他意見・要望、参加の感想

複数の参加者より、案内の送付が開催直前となったことに対するご意見をいただきました（この点については後述）。

## 実施後の評価と課題

### (1) 無作為抽出・参加者について

今回は市内全域から300地番1,500世帯を抽出し、参加目標数を25名に設定し募集を行いました。

抽出にあたっては最新版の住宅地図を参考にしましたが、担当者がポスティングに向かったところ、転居や建物の取り壊し等により該当する世帯が存在しないケースがありました。

前回（5月）より、投函物に対する信用性を高めるを高めた目的で宛名ラベルを添付する手法をとっています。作業者からも「封筒に宛名があることで現地の表札と照合しやすく作業が早い」との意見の反面、宛先が存在しない場合は代替地番への投函ができないまま回収せざるを得ません。最終的には全体の1割強（150～200通）が不達となりました。

参加数については、回答9名、当日参加は8名（うち1名は途中退出）に留まりました。参加数が伸び悩んだ点については以下の理由が考えられます。

#### ①ポスティングのタイミングの問題

抽出各世帯への投函タイミングが、当初予定した3～2週間前から、実際には約1週間遅れ、各戸への配布が開催間近となったことが最大の原因と考えられます。これは1,500通のポスティング資料の印刷・折り込み・封緘、および住宅地図からの住所・宛名の拾い出しから入力・ラベル出力、さらにポスティング補助資料（現場地図・指示表）の準備、までにそれぞれ1週間を要したことがあげられます。

担当メンバーへの投函物の分配、ポスティング作業と、各メンバーが勤務時間の合間、や勤務後の夜間を使ってのポスティング作業となるため、ある程度のゆとりを考慮しましたが、各自の仕事、家庭などの都合もあり予定通り作業が進められないケースも多々ありました。

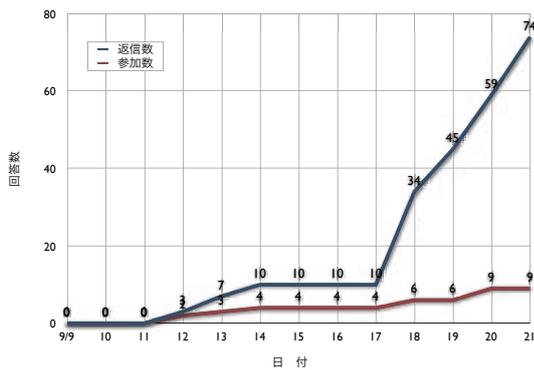


図 返信数と参加数の推移

## ②開催日程の問題

青年会議所他事業との調整もあり、今回9月22日に設定しましたが、当日が3連休の初日にあたり、また彼岸の期間にあったことも少なからず影響したことが考えられます。

今回のポスティングに際し、今後の運営に参考とすべく不参加の理由を調査する目的で、FAX・はがきによる任意のアンケートのお願いを依頼しました。しかし、回答結果の集計前に不参加返答の郵便物・FAXを誤って廃棄する不手際があったため、せっかく多くの回答を得ながら内容を精査することができませんでした。事務局宛郵便の配達記録などの残された情報から、郵便では不参加に関する70名の回答、FAXについては開催2日前の計数から約50名の「不参加」回答が寄せられたことを確認しました。

また事前の大まかなチェックから、主な回答としては「すでに先約が入っている」「お彼岸」など日程の都合、「高齢のため」「病気のため」など体調に関する回答が見られました。

その他、「封筒記載の本人が死亡」という回答もありました。住宅地図を使用する本方式では、地図記載の氏名(=表札)から宛先を拾うため、このようなケースが起きたと考えられます。

テーマ・地域など諸条件が異なる中、今回のみの結果からはっきりした判断はできませんが、今回の「不参加」の回答者(約120名)が今回の討議会にあらかじめ関心があった、あるいは新た

に関心をもった故に返信を出したと捉えれば、約1割の「サイレント・マジョリティー」が存在する可能性が示唆されました。

その他の新たな試みとして、1地番あたり近隣の5世帯、300地番で計1,500世帯を抽出し、近所での話題から連れだつての参加につながる可能性についてみましたが、今回の結果を見る限りは、いずれも別々の地域からの参加であり、効果は認められませんでした。

また、昨年立川において同じテーマで開催した際は昨年8月の開催では500世帯に配布し最終参加者が12名、年齢は20代から70代まで幅広くみられましたが、今回は40代から70代と、高齢にシフトした結果が得られました。

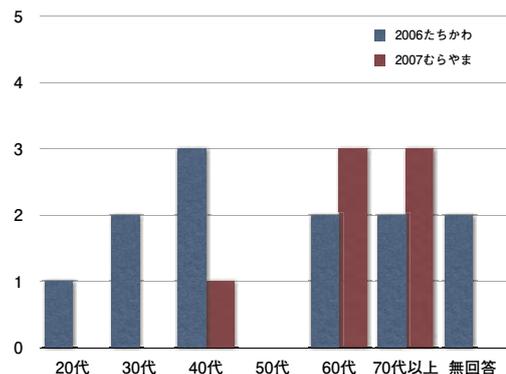


図 参加者年齢構成の比較

前回2回の開催と同様、世帯単位に配布する現行のシステムは、世帯主の開封後に家族の間での程度情報が伝わるか、諸条件にもよりますが、家族の中の若年層までに届きにくいという問題も推察されます。

## (2) 事前のPRについて

立川での過去3回の開催から、市内公館等へのチラシ設置の効果については、残部数の確認から、あまり手に取られてはいなかったことから、今回は行いませんでした。

今回は大手各紙に対するプレスリリースを行った結果、8月24日付読売新聞地域面に掲載され

ました。アンケートの結果からも初めて「過去の新聞記事で知っていた」との回答があった通り、同紙の武蔵村山市内における発行部数（14,900部\*）を勘案すれば、新聞等メディアによる広報を通じたPRは、団体・事業の認知を高める上で効果があるようです。しかし、主に若年層の情報収集源が紙媒体からネットに流れ、新聞離れが加速している現状もあり、幅広い世代に知ってもらう上では、新聞と並行した効果的なPRについて今後の課題が残りました。ホームページ上での事業案内、情報提供も並行して行いましたが、アクセス数の解析からは、新聞報道やポスティングによる特異的なアクセスの増加は認められていないことから、知名度の低さもあり現段階ではインターネットを経由した顕著なPR効果はまだ認められていません。

\*2007年7月現在(有)ビプロホームページ (<http://www.bivlo.jp/>) より

### (3) 実施テーマ数・日程について

今回は午前・午後各1つずつの小テーマとしました。過去の開催でテーマ数と質問次第では最初の2テーマ程度で議論が出尽くしてしまうケースもあったため、今回は「議会側からのアプローチ」「市民側からのアプローチ」と2つに絞りました。当日の展開や結果から、参加された方も大きく迷うことはなく討議から意見を導いてもらえたと考えます。

アンケート結果からも「60分」という今回の時間設定について大半の方から妥当という回答をもらいました。

ただ時間の制約から実施できるコマ数は1日あたり2～3が限度であり、現状の1日開催の場合は、どうしても各論までは至らず、一般論的な意見にまとまってしまふところはあるようです。

### (4) 運営費用について

前回同様、募集・参加の返信における通信費を軽減するため、参加申し込みの返信用には受取人

払郵便（1通70円）を利用し、返信にかかる経費の節減を図りました。今回不参加者を対象とした任意の回答を求めたことで、返信数が増え、参加・不参加あわせ79通の回答がありました。

なお通信費のさらなる削減を図る意味で、FAXによる回答フォームも用意し数を比較したところ、返信は約50通でした、今回の結果を見る限りではFAXへの一本化よりは、双方を準備した方がよさそうです。

### (5) 会場について

前回に続き通常の会議室（洋室）で実施し反応を伺いましたが、アンケートからも長時間の討議には「洋室が良い」という回答が占めました。長時間の正座・胡座による負担を考えると、やはり洋室での設営が妥当のようです。

今回は別室・モニタは使用せず、討議室内に傍聴者を入れました。最大で7～8名が傍聴しましたが、討議進行上大きな支障はありませんでした。アンケートからも会議中の公開に対しては肯定的な意見が多数を占めることから、少しでも多くの人に討議のプロセスを見聞きしてもらい、関心を高めるという点においては、引き続き可能な範囲で傍聴者を会場に入れられる設営を今後も検討したいと思います。

### (6) 情報提供について

昨年8月に続き「市議会と市民の関わり」をテーマとして選定したため、立川市での実施結果と比較できないか？ということで、前回に引き続き伊藤、三葛両氏にご登場いただき、加えて地元市議の天目石氏にも提供を頂きました。

参加者からは今回の情報提供についておおむね評価をいただくことができたのですが、アンケートでも複数からの指摘を受けた通り、熱のこもった積極的な情報提供に運営側も押され？各者の時間配分に差が生じるなど、設営面で多々反省すべき点もありました。

無作為抽出と並び、「偏りのない情報の提供」が提言に対する客観性、信頼性を担保する上での

前提となります。これまでは wellvoice (= 市民討議会) のしくみをまず知ってもらうという観点から、主として立川 JC にて情報提供者の選定を行ってきましたが、今後の開催においてはテーマ選定も含め行政・地域・他団体への紹介、協働をより進めていくことが必要と感じました。

### (7) グループ討議の形態について

ドイツのプラーヌクスツェレにならい、今回も討議を通したファシリテータはおかず、司会が全体のタイムキーパーを兼ね、その他室内の運営スタッフが事務的な取り次ぎや補足のみを行うスタイルをとりました。スタッフをグループ討議の時間中配置する必要もなく、積極的に討議いただくことができました。

## 今後の展開

### 公募による参加との併用

「無作為抽出者による討議」の原則に照らし合わせ、案内が届いた方のみ参加への資格が与えられるというしくみのため、本事業は事前の PR がしにくいという問題があります。

知名度が少ない現在、まずは市民討議会という「名称」や「しくみ」の認知度アップに重点をおくのであれば、今回学生がオープンで参加したケースのように(A)無作為抽出による参加や、(B)参加希望者の公募という2本立てで2～3ヶ月前から告知を行い、周知を図ることも広報の面で効果的ではないかと考えました。

あくまでも上記の市民討議会の基本を担保するため、当日の討議では

① (A) と (B) のメンバーは別室 (別テーブル) にて討議を行う。グループメンバー間のシャッフルもそれぞれ別個に行う

② 投票は別々に行う。または (B) から (A) への投票は認めるがその逆は認めない

④ 報酬は無作為抽出による参加者のみなどの方策が考えられます。

## まとめ

地域にある問題解決のためのツールとして「wellvoice 市民討議会」の確立・定着を目指し、今回初めて武蔵村山市内にて開催しました。

今回は昨年8月の立川における開催と同じテーマを設定しました。テーマ設定における背景 (立川：投票率、武蔵村山：無投票) やポスティング作業の状況、小テーマなど、設営面での双方の違いも多いため単純な比較は難しいですが、昨年の結果との比較から、現状の議会 (行政) 側からの情報提供に対して市民が不足に感じていること、また住民からの意見表明のシステムが十分には機能していない現状などが共通の問題として認められました。

また、参加に関する今回の返信から、一定比率の参加可能な層の存在が示唆されました。今後こうした人々の参加を促し声を拾う上でも、日程等諸条件の調整、開催前の事前周知をはじめ、ふだんからの討議のしくみを紹介するなど、市民討議会に対する認知の向上に対する取り組みの必要性があります。

今後、昨年からの4回の開催の結果を踏まえ運営面を中心とした比較考察を通し、また市民の皆さんからいただいた意見をいかにしてに地域にアピールし反映させていくか、効率的・効果的なツールとしての深化を検討していく必要があります。同時に活動地域が3市にまたがる立川青年会議所のメンバーとして、事業を行っていく上で自分たち自身が改めて地域を知ること、関心を寄せることの必要性を改めて感じました。

都内の他の青年会議所においては、東京青年会議所では8・9月にかけて都内4区(千代田・墨田・葛飾・江東)で教育を題材とする共通テーマにより開催されたほか、町田青年会議所でも町田市との共催により10月13・14日に実施しました。

その他、6月には青梅青年会議所が、9月に多摩青年会議所と多摩市の共催(9月)、三鷹市(10月)、日野青年会議所・日野市の共催(11月)と、少しずつこの新しいしくみを広げていこうという

機運が高まりつつあり、来年以降は関東を中心に他県においても開催の機運が高まっています。

立川青年会議所では、2008年には立川・国立・武蔵村山の各市において開催を企画しております。無作為抽出・情報提供・有償性の基本をおさえつつ、テーマやその他実施形態においては各行政と協働に向けたアプローチ、地域の特性等を考慮しながら、さまざまな可能性について引き続き検討を行う予定です。

立川青年会議所としても地域に根ざしたツールとして、次年度以降今後さらなる進化をめざし継続的な検討を重ねていきたいと思っております。

## 謝辞

今回の wellvoice むらやま市民討議会に、ご理解ならびにご参加いただきました市民の皆様、またご多忙の中、昨年につき情報をご提供いただきました伊藤伸様、三葛敦志様、御多忙の中傍聴にお越し頂いた市議の皆様にはあらためて厚く御礼を申し上げます。

また、準備から多大な協力をいただいた武蔵村山委員会・三浦哲委員長、名取清高副委員長をはじめとするメンバーの皆様に感謝します。

## 参考資料

地域社会研究 11 号（別府大学地域社会研究センター）2005 年

地域社会研究 12 号（別府大学地域社会研究センター）2006 年

地域社会研究 13 号（別府大学地域社会研究センター）2006 年

市民討議会報告（社団法人東京青年会議所千代田区委員会編）2005 年

wellvoice たちかわ市民討議会実施報告書（社団法人立川青年会議所ゆめ かなえる委員会）2006 年

# 資料編

## ■参加者アンケート結果

※回答に関しては一言一句そのまま掲載させていただきます。

※無記名による回答です。(当日参加者7名による)

### 1.a) これまでに「wellvoice たちかわ市民討議会」をご存じでしたか？

- 1 知っていた 1票  
・立川市におけるJC活動としては新聞等で知っていた
- 2 知らなかった 6票

### 2. 「市民討議会参加のお誘い」が届いたときどのようにお感じになりましたか？

- 1 厄介だなと思った。0票
- 2 胡散臭いと思った。0票
- 3 まじめな案内だと思った。5票
- 4 その他 2票  
・千載一遇のチャンスだと思った。但し、自分がイメージしていたものとは少し違った(空回りであった)  
・大変良い企画だと思った

### 3. 市民討議会の説明文はご理解いただけましたか？

- 1 イメージはつかめた。2票
- 2 よくわかった。4票
- 3 よくわからなかった。1票
- 4 その他 0票

### 4. ご案内が届いたあとに関するご質問です。家族の中からあなたが、市民討議会に参加される事になった理由をお聞かせください。

- ・情報に詳しいから
- ・参加する人が少ないところが興味を引いた。話のネタ(Blog)にもなるし、今まであまりにも不真面目だったので(選挙に行かなかったの)悔い改める機会だと思った
- ・喜んでいて、積極的に送り出してくれた

- ・私宛の依頼だと認識した
- ・私宛の案内状だったので
- ・市の行事にはほとんど参加したことがない。このため市議会等の内容を良く知る機会を得られると思ったから

### 5. 実際に「市民討議会」に参加されてみていかがでしたか？(複数回答可)

- 1 楽しかった 3票
- 2 勉強になった 5票
- 3 新しい発見があった 2票
- 4 興味がわいた 3票
- 5 つまらなかった 0票
- 6 難しくてよくわからなかった 0票
- 7 想像とは違った 1票
- 8 その他  
・偶然の参加であったが、今後は積極的に関わって行きたい

### 6. 市民討議会に参加される前と後では何か変わりましたか？

- ・家族や社会、趣味(水泳・ブログ等)以外の世界と関わりをして見たいという気持ちになった
- ・目的意識の市民レベルが判断できましたが、本心がどのくらい主張されたかは不明である
- ・人により、また立場により考えは違うということ
- ・市議会について感心が高まった。市議会等積極的に傍聴したい
- ・市政に対する興味
- ・理解できた

### 7. 今回の市民討議会のテーマ設定についてはいかがでしたか？

- 1 適切であったと思う 6票  
・タイミングのマッチするテーマであった  
・今まで選挙にも行かない私には難しいが有意義なテーマであった
- 2 興味がないのでピンと来ない。 0票

- 3 難しすぎる。 0票
- 4 市民がやるべき事ではない。0票
- 5 その他
  - ・一度限りの出席では意味が半減してしまう、次回も参加できる様な設えを検討して欲しい

**8. 今後「市民討議会参加のご案内」が届いたらどうしますか？**

- 1 日程が合えばぜひ参加したい 4票
- 2 参加しない 0票
- 3 テーマによっては参加したい 6票
- 4 その他 1票
  - ・初回だからテーマはこんなものかと思った

**9. 情報提供(者)についてはいかがでしたか？(複数回答可)**

- 1 説明がわかりやすく参考になった 6票
- 2 説明がわかりにくく疑問が解消されなかった 0票
- 3 情報に偏りがあった 1票
- 4 一方的で参考にならなかった 1票
- 5 説明が長い 1票
- 6 説明が短い 0票
- 7 その他
  - ・他市の議員の説明は良かった
  - ・話は時間内に終わらせるように
  - ・市民の希望としているものとはずれていた

**10.a) 討議の時間(1コマ)についてはいかがでしたか？**

- 1 ちょうどよい 6票
- 2 短くて意見がまとまらなかった 1票
- 3 長くて疲れた 0票
- 4 その他
  - ・与えられた時間の中で対応することも重要であると思う

**b) 前問で1「ちょうどよい」以外にお答えの方におたずねします。適切と思われる時間は何分ですか？**

- ・120分

- ・午後の進行が午前に比べて順調に終始した

**11. 討議の小グループのメンバー数や雰囲気はいかがでしたか？(複数回答可)**

- 1 ちょうど良い 4票
- 2 少ない 0票
- 3 多すぎる 0票
- 4 和やかで話しやすい 5票
- 5 参考になる意見が多かった 1票
- 6 自分の主張ばかりで議論しづらかった 0票
- 7 話しづらく重い雰囲気だった 0票

**12. 討議の進め方はいかがでしたか？**

- 1 スムーズで良かった。5票
- 2 まあまあ 3票
- 3 わかりにくい。改善すべき 0票

**13. 今回の討議会には洋室(椅子)を用いて開催しましたが、過去2回においては和室を使用しております。この点についてご意見がありましたらお聞かせください。**

- 1 洋室がよい 6票
  - ・一般会議スタイルで疲れない
  - ・長時間の会議でも楽であった
  - ・疲れないから
  - ・高齢者に向いている
- 2 和室がよい 0票
- 3 どちらでもよい 1票

**14. 報酬についてご意見をお聞かせください。また、その理由は？**

- 1 支払うべき。1票
  - ・長時間だから
- 2 いらぬ。2票
- 3 その他 4票
  - ・状況判断
  - ・会議室使用費も大 もらうのも良いが、もらわない方も良い
  - ・支払うべき(参加者として)とは思っていないが、頂けるのは有難いことです

15. a) 今回1日の開催に対する手当の金額(3,000円)についてはいかがでしょうか？

- 1 適切 3票
  - 2 多いと思う 1票
    - ・足代程度で、私は結構だと思いました
  - 3 少ないと思う 0票
- その他：無回答(3名)

b) 前問a)で1「適切」以外にお答えの方におたずねします。1日の開催に対して適切と考えられる額はいくらですか？

- ・¥10,000 1票
- ・¥5,000 1票

16. 市民討議会の討議中は公開にすべきですか？それとも非公開にするべきですか？またその理由は？

- 1 公開にするべき。6票
  - ・情報共有化
  - ・会議の認知度が上がるのでは？
  - ・何等の形で発表すべきである
  - ・市民が何を考えたか公開にすべき
- 2 非公開にするべき 1票

17. 案内状の送付に関するご質問です。

a) 今回の無作為抽出は市内地番からランダムに取り出し、直接ポスティングによりお届けしました。市民討議会のような目的で、住民基本台帳を用いて無作為抽出を行うことに関してどう思われますか？

- 1 妥当な目的だと思う 6票
- 2 住民基本台帳は使用すべきでない 0票

b) 前問で2「使用すべきでない」とお答えの方におたずねします。その理由をお聞かせください。

(回答なし)

c) ポスティング以外の送付手段として、無作為抽出と住宅地図の併用による選び出した住

所・ご氏名への郵送について、現在検討しております。この点についてはどのように思いますか？

- 1 ポスティングに比べ信用できる 6票
- 2 ポスティングに比べ信用できない 0票
- 3 なんともいえない 0票

18. 今回は日曜の開催としましたが、開催日程により参加のしやすさはありますか？(複数回答可)

- 1 日曜 2票
- 2 土曜 6票
- 3 平日 0票

19. 「wellvoice たちかわ市民討議会」という名称についてはどのように思われますか？

- ・ネーミングOK
- ・wellvoiceは不要。日本語でお願いします
- ・一見して内容が分かりにくい
- ・誠に適切

20. 「情報提供者」という名称についてはどのように思われますか？

- ・特に無し
- ・意味は分かるので良い
- ・？
- ・妥当
- ・適当
- ・市民参加会議のほうが良いと思う

21. 「討議」という名称についてはどのように思われますか？

- ・宜しいと思います
- ・悪くはない
- ・？
- ・妥当であるがもっとスマートにしても良いと思う
- ・適当
- ・まあよい

**22. 今後「市民討議会」で取り上げてほしいテーマはありますか？以下より3つ以内でお答えください。また、具体的なテーマがございましたらお書きください。**

- 1 市政 4票
  - ・分析に対する考え方と方針、有能性
  - ・まちづくり
- 2 都政 2票
  - ・都政と基礎自治体
- 3 国政 2票
- 4 経済 1票
- 5 労働 1票
- 6 教育 3票
  - ・学校教育はどうあるべきか
- 7 保健・福祉 2票
  - ・市内の医療機関の情報。特になに課医者がどの医院で優れているか市民としての意見を知りたい
- 8 環境 4票
  - ・ごみ問題のあるべき姿
- 9 交通 2票
  - ・モノレール・バス・歩道・道路ほか
- 10 防災・治安 2票
- 11 科学・技術 1票
- 12 その他 0票

**23. これまで「青年会議所」という公益法人をご存じでしたか？また、その印象や活動イメージをお書きください。**

- 1 知っていた 5票
  - ・がんばっている。今後とも青年事業家として成功して欲しい
  - ・若き経営者（実業家）の研究団体・社会奉仕
  - ・先進的・まじめ
  - ・ご苦労様でした
  - ・若者がボランティア活動して酒飲んだりして交流を深める???
  - ・なんとなくあやしい

**24.a) これまで市やNPOが主催する討論会や**

22

**フォーラムなどに参加したことがありますか？**

- 1 ある 2票
- 2 ない 4票

**b) 1「ある」と答えた方に質問します。どうい  
う議題の市民会議でしたか？**

- ・老人会・社会福祉協会・会合運営（協）

**c) 2「ない」と答えた方に質問します。なぜ今  
日の市民討議会に出席されましたか？**

- ・話のタネ。政治に前向きに取り組むように自分  
を変えるきっかけ
- ・世の中あまりに問題多発につき他人事が自分に  
幾多も降りかかっている現状
- ・案内を頂いたので
- ・このような問題に興味があった。今までこの様  
な場に出席する機会がなかった

**25. 今後、立川青年会議所からの事業ご案内  
を希望されますか？**

a. 「wellvoice たちかわ市民討議会」に関する開  
催・傍聴のご案内

- 1 希望する 6票
- 2 希望しない 0票

b. その他、立川青年会議所が主催・共催する事  
業のご案内

- 1 希望する 4票
- 2 希望しない 1票

**26. その他、ご意見やご要望がございましたら  
お聞かせください。**

- ・街を国を少しでも住み良くするために努力をし  
てください
- ・2日前に案内に開催日がなかった。◎先着順は  
やめて欲しい（今回2日後に投函したFAXより  
遅れるため）
- ・出席の前日に出席していただきたいとの封書  
を受けた。これは少し遅すぎるのではないでし  
ょうか？

■無作為地点抽出基礎資料

町名	世帯数	人口			番地	割当番号
		男	女	計		
伊奈平 1 丁目	146	182	132	314	1 ~ 88	1 ~ 146
伊奈平 2 丁目	31	40	30	70	1 ~ 100	147 ~ 177
伊奈平 3 丁目	73	75	64	139	1 ~ 45	178 ~ 250
伊奈平 4 丁目	410	420	464	884	1 ~ 60	251 ~ 660
伊奈平 5 丁目	625	886	816	1,702	1 ~ 103	661 ~ 1285
伊奈平 6 丁目	531	578	637	1,215	1 ~ 67	1286 ~ 1816
榎 1 丁目	9	12	9	21	1 ~ 31	1817 ~ 1825
榎 2 丁目	585	762	678	1,440	1 ~ 97	1826 ~ 2410
榎 3 丁目	882	449	433	882	1 ~ 120	2411 ~ 3292
大南 1 丁目	1368	1,849	1,680	3,529	1 ~ 172	3293 ~ 4660
大南 2 丁目	970	1,268	1,197	2,465	1 ~ 163	4661 ~ 5630
大南 3 丁目	1551	2,038	1,773	3,811	1 ~ 136	5631 ~ 7181
大南 4 丁目	800	916	925	1,841	1 ~ 65	7182 ~ 7981
大南 5 丁目	651	821	828	1,649	1 ~ 72	7982 ~ 8632
学園 1 丁目	715	997	985	1,982	1 ~ 128	8633 ~ 9347
学園 2 丁目	504	574	482	1,056	1 ~ 37	9348 ~ 9851
学園 3 丁目	577	699	637	1,336	1 ~ 102	9852 ~ 10428
学園 4 丁目	437	576	476	1,052	1 ~ 49	10429 ~ 10865
学園 5 丁目	178	232	234	466	1 ~ 41	10866 ~ 11043
岸 1 丁目	515	630	560	1,190	1 ~ 66	11044 ~ 11558
岸 2 丁目	191	268	262	530	1 ~ 32	11559 ~ 11749
岸 3 丁目	392	534	496	1,030	1 ~ 54	11750 ~ 12141
岸 4 丁目	0	0	0	0	1 ~ 14	—
岸 5 丁目	31	47	37	84	1 ~ 33	12142 ~ 12172
岸	0	0	0	0	—	—
残堀 1 丁目	372	528	481	1,009	1 ~ 114	12173 ~ 12544
残堀 2 丁目	391	527	478	1,005	1 ~ 87	12545 ~ 12935
残堀 3 丁目	0	0	0	0	1 ~ 111	—
残堀 4 丁目	558	766	785	1,551	1 ~ 180	12936 ~ 13493
残堀 5 丁目	598	924	856	1,780	1 ~ 159	13494 ~ 14091
神明 1 丁目	226	303	275	578	1 ~ 102	14092 ~ 14317
神明 2 丁目	414	611	572	1,183	1 ~ 123	14318 ~ 14731
神明 3 丁目	293	402	358	760	1 ~ 139	14732 ~ 15024
神明 4 丁目	353	449	413	862	1 ~ 127	15025 ~ 15377
中央 1 丁目	295	410	391	801	1 ~ 125	15378 ~ 15672
中央 2 丁目	472	666	643	1,309	1 ~ 153	15673 ~ 16144
中央 3 丁目	341	452	431	883	1 ~ 115	16145 ~ 16485
中央 4 丁目	134	195	189	384	1 ~ 82	16486 ~ 16619
中央 5 丁目		0	0	0	1 ~ 41	—
中藤 1 丁目	180	270	251	521	1 ~ 60	16620 ~ 16799
中藤 2 丁目	55	72	73	145	1 ~ 75	16800 ~ 16854
中藤 3 丁目	152	225	222	447	1 ~ 90	16855 ~ 17006
中藤 4 丁目	279	381	373	754	1 ~ 83	17007 ~ 17285
中藤 5 丁目	211	295	312	607	1 ~ 107	17286 ~ 17496

町名	世帯数	人口			番地	割当番号
		男	女	計		
中原1丁目	378	509	509	1,018	1～37	17497～17874
中原2丁目	734	999	1,023	2,022	1～54	17875～18608
中原3丁目	400	613	561	1,174	1～33	18609～19008
中原4丁目	112	130	136	266	1～25	19009～19120
中原5丁目	0	0	0	0	1～26	—
本町1丁目	472	587	576	1,163	1～88	19121～19592
本町2丁目	453	614	620	1,234	1～126	19593～20045
本町3丁目	188	252	233	485	1～87	20046～20233
本町4丁目	167	227	226	453	1～60	20234～20400
本町5丁目	105	148	141	289	1～48	20401～20505
本町6丁目	17	19	16	35	1～31	20506～20522
三ツ木1丁目	397	534	528	1,062	1～64	20523～20919
三ツ木2丁目	325	463	436	899	1～55	20920～21244
三ツ木3丁目	307	469	418	887	1～69	21245～21551
三ツ木4丁目	0	0	0	0	1～19	—
三ツ木5丁目	278	412	387	799	1～54	21552～21829
三ツ木	0	0	0	0	1～	—
三ツ藤1丁目	952	1,227	1,187	2,414	1～120	21830～22781
三ツ藤2丁目	323	404	382	786	1～53	22782～23104
三ツ藤3丁目	441	646	654	1,300	1～63	23105～23545
緑が丘	"4,202"	3,720	4,671	8,391	1～72	23546～27747
横田基地内	79	60	131	191	1～	27748～27826
合計	"27,826"	34,362	33,773	68,135		

※ 2007年7月1日現在 武蔵村山市ホームページより

### 集合住宅指定枠

住所	名称	戸数	割当数
大南4-21	UR 玉川上水エステート大南公園10号棟	168	5
学園2-36	むさしの住宅	122	20

■新聞掲載記事

読売新聞 2007年8月30日朝刊多摩版

2007年(平成19年)8月30日(木曜日) 言説 菅 衆 議 院

無作為選出の市民 来月 社会問題議論

立川青年会議所は9月22日、武蔵村山市役所で、無作為に選ばれた市民が参加して社会問題について議論する「むらやま市民討議会」を開く。立川市などで開いているが、武蔵村山市では初の開催となる。

市民討議会は行政への参加意識を高めてもらうのが狙い。無作為に抽出した市の1500世帯に案内状を送り、25人の参加者を集める予定だ。同市では4月に行われた市議選で、定数と同じ20人しか立候補者がなく、無投票に終わった。市議選の無投票は市政施行以

来初で、同青年会議所は市民の政治離れが原因ではないかと受け止めた。そこで、市民討議会では「市議会と市民の関わりをテーマに、①現在の市議会と市民の関わりについて②これらの議会のあり方」を議論する。

同青年会議所は「これまで積極的に行政に参加したことのない人でも、自分の意見を持っている人は多いはず」としている。当日は一般市民も傍聴や見学をすることができる。問い合わせは同青年会議所(☎042・527・1001)へ。

府中市内のエレ

ター1403基(家庭用を除く)のうち、シンドラー社や日本オーチス社、東芝など大手8社の1183基(約84%)について回答があったが、その結果、施設老朽化でワイヤロープ交換を予定していた1基を除き、すべて「支障なし」だった。

来年1月27日投票

八王子市長選

八王子市選挙管理委員会は28日、任期満了に伴う同市長選の日程について、来年1月20日告示、同27日投票とすると発表した。開票は投票日翌日の同28日午前8時45分から行われる。現時点では、同市長選へはまだだれも立候補を表明していない。

また、同市長選は1996年には即日開票されたが、それ以外はいずれも翌日開票で行われている。

議会だより

国分寺市 定例会が29日開会。一般会計補正予算案など22議案が提案された。一般質問は30、31日、9月3、4日。会期は28日まで。

ご家族 仲間と楽しいボウリング

**スズカボウル**

東村山市恩多町3-45 5スズカ山駅より徒歩5分  
04223941311



## ■開催案内同封資料



都内市部では初となる無投票全員当選。  
なぜこうなったのか？  
そもそも市議会と市民の関わりは  
どうなっているのか？どうあるべきか？  
ランダムに集まった市民の皆さんで  
一緒に考えてみませんか？



今回のテーマ

# 市議会と市民の関わり

※詳細は裏面をご覧ください

ランダムに選ばれた市民の皆さんで考える「もっと住みやすいまち」への新しい試み。  
さあ、次はあなたの出番です。

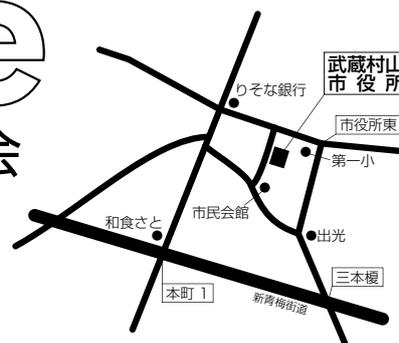
# wellvoice

## むらやま市民討議会

**2007年9月22日(土) 10:00~16:00**

**武蔵村山市役所 4階会議室** (武蔵村山市本町 1-1-1)

主催 社団法人立川青年会議所 <http://www.tachikawajc.or.jp/wellvoice/>



## 今回の討議テーマ

# 市議会と市民の関わり

去る4月、武蔵村山市議会議員選挙が行われました。ところが、20名の定数に対して現職・新人あわせて立候補者が20名、無投票により全員が当選という結果に終わりました。これは1970年の市制施行以来はじめての事態であり、都内の市では初の出来事です。

「政治離れ」が叫ばれて久しいで昨今ではありますが、もっとも私たちに身近な代議制であるはずの地方議会が、今回、なぜこのような結果を招いたのでしょうか。

この武蔵村山市に暮らす皆さんはどのようにお考えでしょうか。今回の原因、その背景について、市民・行政・議会、それぞれ立場は違えども、何らかの問題意識を持たれた方は決して少なくないと思います。

今回、地方議会に関する専門家や、現職市議会議員の方からの情報提供を交え、市内からランダムに集まった皆さんで、忌憚のない意見を交えてみませんか？



### 市民討議会とは？

近年は国や自治体の計画・条例策定に市民の意見を取り入れる機会が増えてきましたが、その多くでは公募型の審議会や委員会などにおいて関係者や専門家などの特定の市民が意見を述べているのが実状です。しかし、会社に勤め、家事をし、子どもを育て、趣味を楽しむ、そんなごく普通の生活をするみなさんの声こそ、本当の市民・社会の声として、もっと行政に届け、活かしていくべきではないでしょうか。ドイツには「プラーヌングスツェレ」という市民参画による討議システムがあり、利害が複雑に絡む地域問題の解決などに大きな効果をもたらしています。市民討議会はこの「プラーヌングスツェレ」を日本向けにアレンジし、社会に定着させる試みで、地域や社会が抱える問題を住民が共有して考えるきっかけとなり、社会参画意識の向上、地域社会の再生の足がかりになるものと考えています。

より多く、幅広く市民のみなさんのご意見を何う市民参画の新たなツールとして、立川青年会議所では「wellvoice むらやま市民討議会」を地域社会に定着させていきたいと考えております。ぜひ、みなさんの声をおきかせください。

### 市民討議会の特徴

- 参加者の無作為抽出  
市民の中から無作為に抽出された世帯に案内状をお送りし、希望者を募ります。
- 参加者の有償性  
無作為抽出により討議会に参加された方には、参加の手当ならびに当日の食事が支給されます。
- 専門家による情報提供  
討議の前にそれぞれのテーマについて、行政をはじめ専門家を招き、意見ならびに情報提供を受けます。情報の操作性をさげ、異なった意見を聞けるよう複数からの意見を伺います。
- 討議報告書の公表  
討議の結果はそのつど市民に対し行政関連機関・マスコミなどを通して公表します。

### これまでの開催実績

立川市にて「市議会と市民の関わり」(06・8)、「駅前デッキと路上演奏・パフォーマンス」(07・2)、「ご近所のチカラ、求め。」(07・5)をテーマに、無作為に選ばれた中から集まった参加者の皆さんによるディスカッションが開催されました。千代田区や三鷹市、青梅市など都内の他地域においても青年会議所主催や行政との共催により行われ、マスコミにも取り上げられるなど、新しい「しくみ」として各地で広がりを見せています。



### 市民の皆様へお願い

市内にお住まいの皆様より無作為に1500世帯をお選びし、個別にご案内をお送りいたします。もしご案内が届きましたら、ぜひとも応募いただければ幸いです。

「wellvoice むらやま市民討議会」は、市民の知恵や感覚を行政などに反映させる新しい民主主義の形をつくる、はじめの第一歩です。皆様のご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いたします。

## 傍聴・見学もできます

当日のディスカッションの様様を傍聴見学されたい方の受付も行います。詳しくは下記までお問い合わせください。

※傍聴・見学の方は、ディスカッションに直接加わることはできません。あらかじめご了承ください。

主催：社団法人 立川青年会議所

お問い合わせ 社団法人立川青年会議所 事務局 立川市曙町2-38-5 立川ビジネスセンタービル12F  
TEL: 042-527-1001 FAX: 042-527-6600 Mail: info@tachikawajc.or.jp URL: www.tachiakawajc.or.jp

市内ご在住の皆様へ

社団法人立川青年会議所

理事長 渡辺 博昭

きづく・たちかわ委員会 委員長 金子 幹広

武蔵村山委員会 委員長 三浦 哲

## wellvoice むらやま市民討議会 参加ご案内

初秋の候、皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。突然のご案内を差し上げることご無礼をお許しください。

社団法人立川青年会議所では、市民と共に地域をはじめとする社会問題の解決に取り組んでいく“市民の社会参画”をテーマに、今回市内世帯を対象とする「wellvoice むらやま市民討議会」を開催いたします。

この事業は、市内在住者より「無作為に抽出」した皆様から参加者を募り、さまざまな地区・世代・職業の方で地域や社会の問題についてのディスカッションを行い、得られた合意を行政・地域に提言していくものです。従来の市の審議会や公募制の委員会等とは異なり、「無作為による抽出」を大きな特徴としております。数年内に施行される裁判員制度のいわば「行政版」といえるものです。

日常の暮らしの中、地域・行政との接点が少なく、問題意識をもちながらもこれまで地域の取り組みに積極的に参画するまでには…という市民の方は多いと思います。こうした皆様に「受け手」のままにせず、もっと多くの市民の豊かな知恵と経験を引き出し、地域に反映させることは、幅広く多様なニーズに対応した行政サービスの提供を可能とするとともに、地域の皆さんが実感し、参画意欲をさらに高める上で、重要なことと考えております。

立川青年会議所では、昨年「wellvoice たちかわ市民討議会」として立川市において開催し、これまでに3回行っています。また、都内の他地域においても6月に青梅市で開催されたほか、多摩市・日野市・町田市・三鷹市・千代田区・江東区・葛飾区・墨田区においても、各地域の青年会議所主催、行政との共催による実施が予定されております。立川青年会議所では、地域の課題などに対して「普通」の市民が抱く意識を広くくみとり、さらに地域社会への参画へと導く機会として、この「wellvoice」を多様な市民参画方法の一つとして、提案、実施していきたいと考えます。

まだまだ端緒についたばかりの事業であり、ご理解を頂いた上、多くの皆様のご意見を伺っていきたくと考えております。何卒積極的なご参加ご検討のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

■主催 社団法人立川青年会議所

■日時 9月22日(土) 10:00～16:00

■会場 武蔵村山市役所 4階会議室

■テーマ 「市議会と市民の関わり」

1) 市議会と市民の関わりにおける現状

2) よりよい市議会と市民のありかた

※添付のチラシもあわせてご覧ください。※小テーマ名称・内容については変更の可能性があります。

■募集人数 25名(5名×5グループ) ※先着登録順となります。

■申込方法 同封のハガキまたはFAXにてご返信ください。

郵送：9月20日到着分まで FAX：前日受付分まで

## 今回のご案内投函の経緯について…

新しい試みである「wellvoice むらやま市民討議会」の参加者抽出方法として、市内住宅地図と乱数を用いた300地番(〇〇町〇丁目〇番まで)を無作為に抽出し、さらに各地番より5世帯を無作為に選び、計1,500世帯の皆様へ本案内をお届けしております。

突然のお手紙に、ご迷惑等をお掛けすることも多々あるかとは思いますが、何卒ご理解の上、ご家族の中より18歳以上の1名の方に、今回の討議会にご参加頂ければ幸いです。

## 当日の討議方法について…

今回は先着順に25名の参加者を募集いたします。5名ずつのグループに分かれ、2ないし3つの小テーマに分け、各グループにてディスカッションを行います。

名前こそ「討議」とありますが、決して堅くならず、アットホームな雰囲気でお話をしていただけるような設営をいたしますので、どうぞお気軽にご参加ください。

## 「テーマについての知識がいるのでは…?」と思われる方へ

テーマについての事前知識が全くなくても大丈夫です。「wellvoice」は皆様がそれぞれのテーマについて勉強ができる場でもあります。討議中は専門家が近くにおりますので、わからないこと、ちょっと違った方向へそれたと感じた場合、討議が進まない事等があるときはスタッフがサポートいたします。

## 傍聴をご希望の方は…

今回の「wellvoice」の傍聴をご希望される方向けに、チラシ等で紹介しております。

傍聴者は直接討議には加わることはできません。また、会場の広さの都合上、別室での傍聴とさせていただく場合があります。悪しからずご了承ください。事前に傍聴を希望される方は同封のハガキにご記入の上、ご投函ください。

## 最後に…

明るく楽しいディスカッションを目指しております。この日本でもまったく新しい試みである「wellvoice」を今後、発展させていくためにも、ぜひとも皆様の御参加をお待ちしております。

---

## 社団法人立川青年会議所について

立川・国立・武蔵村山の3市に居住もしくは勤務する20～40歳の100余名のメンバーで構成され、「まちづくり・ひとづくり」をテーマに、国際交流、青少年の育成、環境問題、地域諸団体との交流、行政への政策提言活動等の事業を行っております。

ホームページ <http://www.tachikawajc.or.jp>

料金受取人払郵便

武蔵村山局承認

0000

206 0000

差出有効期限  
平成19年9月30日  
まで(切手不要)

東京都立川市曙町 2-38-5  
立川ビジネスセンタービル 12 階

社団法人 立川青年会議所

wellvoice むらやま市民討議会係 行



9月22日(土)

wellvoice むらやま市民討議会に

参加・不参加のいずれかに○をおつけください

**参加します**

**参加しません**

※お差し支えなければ、理由をお書きください。今後の事業開催の参考にいたしたいと存じます。

ご氏名 \_\_\_\_\_

性別 \_\_\_\_\_ 男・女 \_\_\_\_\_ 年齢 \_\_\_\_\_ 歳

ご住所 \_\_\_\_\_

お電話 \_\_\_\_\_ ( ) \_\_\_\_\_

E-Mail \_\_\_\_\_

# wellvoice むらやま市民討議会 参加ご回答書

参加・不参加のいずれかに○をおつけください

9月22日（土） wellvoice むらやま市民討議会に

## 参加します

## 参加しません

※お差し支えなければ、理由をお書きください。今後の事業開催の参考にしたいと存じます。

ご氏名 \_\_\_\_\_

性別 男・女 年齢 \_\_\_\_\_ 歳

ご住所 \_\_\_\_\_

お電話 ( ) \_\_\_\_\_

E-Mail \_\_\_\_\_

## FAX 送信先

社団法人立川青年会議所 事務局 **042-527-6600**

※当日までに確認のご連絡を差し上げる場合があります。あしからずご了承ください。

## ■参加登録者向け案内状



ご参加の皆様へ

社団法人立川青年会議所  
理事長 渡辺 博昭  
きづく・たちかわ委員会 委員長 金子 幹広  
武蔵村山委員会 委員長 三浦 哲

### 「wellvoice むらやま市民討議会」参加ご登録御礼ならびに当日のご案内

このたびは「wellvoice むらやま市民討議会」ご参加のご返信をいただき、誠にありがとうございます。先日お送りしました資料の通り、立川青年会議所では都内の各青年会議所と連携し、多様な人々によって熟慮された声を社会に向けて提示する、新たな市民参画手法として「市民討議会」を地域にむけて提唱していくこととなりました。

討議会当日はぜひとも皆様が有意義な時間を過ごされるよう、現在鋭意準備を進めております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

なお開催に先立ち、当日におけるいくつかの留意事項についてあらかじめお知らせいたしますので、どうぞ一読のうえ、ご了承くださいませよう、よろしくお願ひ申し上げます。

#### ■当日の予定スケジュール

9時30分より会場（市役所4階会議室）前にて受付を行います。10時より開会となります。今回は「市議会と市民の関わり」をテーマに、昼食をはさみ午前・午後それぞれ1つの小テーマについての討議を行います。

なお、終了時間はおおむね16時00分頃を予定しております。会場については裏面をご覧ください。

#### ■討議中における諸注意

- 1 会場ならびに施設内は禁煙です。喫煙は休憩時間中に指定の喫煙コーナーにてお願いいたします。
- 2 情報提供や討議の間、携帯電話やメールのご利用はお差し控えてください。
- 3 討議中のパソコン使用、個人による録音、カメラ・ビデオ等による撮影はご遠慮ください。
- 4 昼食ならびに討議中のお飲物等はこちらでご用意いたします。
- 5 お互いは「さん」づけでお呼びください。

#### ■その他

- 1 討議会終了後、手当をお渡す際に領収書への記名捺印が必要となります。当日はご印鑑をお持ちください。
- 2 原則として討議者以外がディスカッションに加わることはできません（情報提供者・運営スタッフについては運営上の必要に応じ補足説明等に加わる場合があります）。
- 3 傍聴希望者多数の場合は、室外モニタからの傍聴とさせていただきます。
- 4 報告・提言資料作成ならびに次回以降の開催における広報活動等のため、運営スタッフが討議の風景をカメラ・ビデオ等で撮影する場合があります。あらかじめご了承下さい。
- 5 当日までに再度電話・メールにてご確認のご連絡を差し上げる場合があります。

※その他、ご不明な点がございましたら事務局までどうぞお問い合わせください。

お問い合わせ先：社団法人立川青年会議所 事務局  
電話 042-527-1001 FAX 042-527-6600 Mail:info@tachikawajc.or.jp

■当日配布資料

wellvoice  
むらやま市民討議会

「市議会と市民の関わり」  
プログラム

2007年9月22日

主催：社団法人立川青年会議所

きづく・たちかわ委員会 武蔵村山委員会

氏名	討議グループ	
	午前	
	午後	

## ご挨拶

社団法人立川青年会議所  
きづく・たちかわ委員会 委員長 金子 幹広  
武蔵村山委員会 委員長 三浦 哲

本日はご多忙の中「wellvoice むらやま市民討議会」にご参加いただき、ありがとうございます。  
(社)立川青年会議所きづく・たちかわ委員会では、都内の各青年会議所と連携し、多様な人々によって熟慮された声を社会に向けて提示する、新たな市民参画手法として「市民討議会」を地域にむけて提唱していくこととなりました。

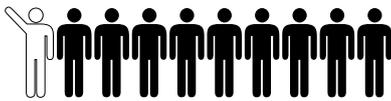
皆様が楽しく、かつ有意義な時間を過ごせるよう、プログラムにはさまざまな工夫を凝らしました。  
新しい試みであり、不慣れから至らぬ点多々あるかとは思いますが、どうぞ最後までおつきあいでございますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

## 市民討議会とは

住民基本台帳などから無作為に選んだ市民に「ある問題」に関する客観的な情報提供を行い、さらに5人程度のグループで議論した後に意見の抽出と投票を行い、その結果を一般市民の意見として行政に提出・公表していくものです。従来の公募型市民会議やパブリックコメントなどの仕組みでは拾い上げられなかった「サイレント・マジョリティ（声なき多数派）」の意見を聞くしくみとして、また従来の世論調査では得られなかった「よく考えられた」意見を聞く新しいスタイルとして、全国各地で注目されています。

### 従来の公募型市民会議

結果的に一部の個人・団体の声しか  
得られない



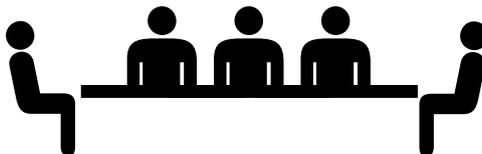
### 世論調査

無作為抽出であるが、人々がよく  
考えた声ではない



### 市民討議会

無作為抽出によって選ばれた人々が、  
行政や利益団体の声を聞いた上で議  
論を行い、意見を形成する。一般市  
民によって熟慮された声を得ること  
ができる



## 市民討議会の結論の出し方 (写真はイメージです)



### **STEP 1**

講師（情報提供者）から情報と知識を得ます。



### **STEP 2**

小グループに分かれて討議を行います。



### **STEP 3**

各グループより意見の発表を行います。



### **STEP 4**

全体での投票により、意見の傾向を把握します。

小テーマについて繰り返し、後日報告を作成します。

## 市民討議会のねらい・活用について

本日の「wellvoice むらやま市民討議会」で皆様にディスカッションいただいた結果をもとに、市民の声として報告書を作成の上で各方面に配布し、行政、メディア、そして地域の皆様にその「声」を届けていきます。

## 市民討議会のルール概略

### ■全体のルール

- 1 会場ならびに施設内は禁煙です。喫煙は休憩時間中に指定の喫煙コーナーにてお願いいたします。
- 2 情報提供や討議の間は、携帯電話やメールのご利用はご遠慮ください。
- 3 討議中のパソコン使用や個人による録音、カメラ・ビデオ等による撮影は、原則としてご遠慮ください。
- 4 昼食ならびに討議中のお飲物等はこちらでご用意いたします。
- 5 このハンドブックは回収しませんので、余白等ご自由にご利用ください。
- 6 お互いは「さん」づけでお呼びください。

### ■グループ討議のルール

- 1 討議されるみなさんが気軽に話しやすい雰囲気を作るため、討議者・情報提供者および運営スタッフをのぞき、原則として討議中の入室を制限します（ただし、主催者側の判断により関係者やメディアの方々が入室することがあります）。
- 2 報告・提言資料作成ならびに次回以降開催におけるPR等のため、運営スタッフが討議の風景をカメラ・ビデオ等で撮影する場合があります。
- 3 小グループにおけるリーダーは参加される皆様一人ひとりです。積極的な発言をお待ちしております。なお他の意見に対する批判を超えるような誹謗中傷はおやめいただきますよう、お願いいたします。
- 4 皆様がディスカッションしやすい環境をつくることを第一に考えております。何かお困りの点がありましたら、近くのスタッフまでお申し付けください。

【本日のテーマ】

## 市議会と市民の関わり

今回の市民討議会のテーマは「市議会と市民の関わり」です。

去る4月、武蔵村山市議会議員選挙が行われました。ところが、20名の定数に対して現職・新人あわせて立候補者が20名、無投票により全員が当選という結果に終わりました。これは1970年の市制施行以来はじめての事態であり、都内の市では初の出来事です。

「政治離れ」が叫ばれて久しい昨今ですが、もっとも私たちに身近な代議制であるはずの地方議会が、今回、なぜこのような結果を招いたのでしょうか。

この武蔵村山市に暮らす有権者の皆さんはどのようにお考えでしょうか。今回の原因、その背景について、市民・行政・議会、それぞれ立場は違えども、何らかの問題意識を持たれた方は決して少なくないと思います。

今回、地方議会に関する専門家や、現職市議会議員の方からの情報提供を交え、地域に関心がある人、ない人、そしてほどほどの人、無作為抽出に集まった市民の皆さんで意見を交えてみてはどうかと考え、今回のテーマとした次第です。

### ■小グループ討議

グループでご自由に話し合い、5つ以内で意見をまとめてください。これとは別にぜひとも残したい意見（付帯意見）がある場合は1つ、指定の欄にご記入ください。

机上の付箋はご自由にお使いください。

### ■発表と投票

各グループの代表者から、グループ討議より集約された意見を発表してください。

最後に、全体で投票を行います。一人あたり5票が割り当てられます。

また、他グループから出された「これは！」意見にも投票できます。

多くの票を得たアイデアほど、多数の人々の共感を得られた意見として提示されます。

## DISCUSSION 1

### **市議会のいまと課題、これからの議会・議員のありかた**

今回、都内市部では初の無投票当選となった武蔵村山市議会。地方自治・地方分権が叫ばれながら、前例のないこの事態の背景には、いったいどんな原因があるのでしょうか。

市議会・個々の議員の活動、報酬、議会情報の公開、などなど…情報提供もふまえ、いまの市議会が抱える課題、今後議会・議員に求められることについて、グループで自由に話し合ってください。

## DISCUSSION 2

### **市民からできること、市民に求められること**

当然のことですが、市議会議員は市民の中から選ばれます。市民を代表する議員を選ぶ上で、市民は権利の行使と同時に、「自らの意見意志をこの先4年間、この人にゆだねる」という意識も求められると思います。よりよい議会・よりよい村山のまちを指向する上で、市民としては、どんな姿勢が求められるでしょうか。

また、選挙・投票以外にも、普段から市民の立場でできること、市民自らすべきことにはどのようなことが考えられるでしょうか。

## 情報提供者ご紹介

いとう しん  
**伊藤 伸氏** (構想日本 政策スタッフ)

1978 年生まれ

同志社大学法学部卒

衆議院議員秘書 (地元事務所)・参議院議員秘書 (国会勤務) を経て

2004 年 2 月より現職。

担当は政治改革 (公職選挙法改正、議会制度の見直しなど)、

行政改革 (自治体の事業の要不要を一つひとつ精査する「事業仕分け」、

地方交付税改革など)、農業政策。

2005 年度滋賀県高島市「財政諮問会議」委員、2006 年度杉並区「市場化提案制度検討委員会」委員。

みかつら あつし  
**三葛 敦志氏** (国分寺市市議会議員)

1973 年生まれ

東京大学教養学部卒

証券会社勤務、参議院議員政策担当秘書を経て

2003 年 5 月より現職 (2 期目)。建設環境委員会副委員長・議会運営委員会委員・都市計画審議会委員

東京大学法科大学院 (ロー・スクール) 在学中

所属団体

国分寺青年会議所、ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟運営委員、

日本ファイナンシャルプランナー協会 (AFP 資格)、慶應義塾市議会議員連盟、

環境行政改革フォーラム

あまめいし よういちろう  
**天目石 要一郎氏** (武蔵村山市議会議員)

1968 年生まれ

学習院大学法学部卒

広告代理店勤務を経て

1995 年より武蔵村山市議会議員。2001 年の都議会議員選挙にて惜敗するも、

再び武蔵村山市議会議員に復職。現在 3 期目。

所属団体

社団法人立川青年会議所

# むらやま市民討議会 参考資料1



参考1) 日本の地方議員にかかる税金の内訳(カッコ内は一人当たり換算)

	都道府県	市	参考) 武蔵村山市	町村	合計
団体数	47	739	—	1,656	2,442
議員数	2,874	21,222	20	36,072	60,188
報酬(年額)*	290億円(1,010万円)	1165億円(549万円)	1.06億円(530万円)	962億円(267万円)	2418億円(402万円)
期末手当	127億円(442万円)	434億円(204万円)	4930万円(246万円)	324億円(90万円)	885億円(147万円)
政務調査費(年額)	130億円(454万円)	150億円(82万円)	240万円(12万円)	9億円(2.5万円)	290億円(48万円)
費用弁償・諸経費**	61億円(214万円)	101億円(48万円)	190万円(9.5万円)	36億円(18万円)	199億円(33万円)
共済費***	21億円(72万円)	169億円(79万円)	1660万円(83万円)	110億円(30万円)	299億円(50万円)
合計	630億円(2,119万円)	2019億円(952万円)	1.5億円(770万円)	1441億円(399万円)	4090億円(680万円)

出所:三議長会共通資料、全国都道府県議長会「各都道府県の概況」、市議会議長会「政務調査費」、町村議会実態調査、各自治体予算書をもとに構想日本が作成  
(武蔵村山市は平成19年度予算書を参照)

\*報酬は、議長・副議長、議院運営・常任委員長等の特別報酬含む。

\*\*費用弁償・諸経費:会期中の交通費・宿泊費、視察旅費、議長交際費、海外旅行支度料など。金額は各自治体の条例によって定まっている。

\*\*\*共済費:議員年金に関して自治体で補助している額。

(調査年)団体数、都道府県・市議会の議員数:H16.12.31現在、町村議会議員数:H16.1現在、都道府県議会の報酬・期末手当、町村議会の費用弁償・共済費:H15年度、市議会の政務調査費:H13年度、その他はH16年度

## 参考2) 諸外国の地方議会制度

	アメリカ			ドイツ			スイス	
人口	2億9000万人			8000万人			700万人	
国と地方の関係	連邦制			連邦制			連邦制	
	州	郡	自治体・タウンシップ	州	郡	基礎自治体	州	市町村
自治体数	50	3,000	36,000	16	439	12,629	23	3,022
地方議員数	7,000人	17,000人	15万人	2,000人	30,000人	15万人	3,000人	5万人
年間報酬総額(手当含む)	290億円	85億円	740億円	100億円	150億円	750億円	—	
1人当り	400万円	100万人以上の都市:950万円 それ以外:50万円		620万円	50万円程度 (月額報酬と出席手当)		ほとんどが無報酬	

	イギリス		フランス			韓国	
人口	6000万人		6000万人			5000万人	
国と地方の関係	国家主導		国家主導			国家主導	
	県	市町村	州	県	基礎自治体	広域自治体	基礎自治体
自治体数	34	435	26	100	3.7万	16	232
地方議員数	2,000人	20,000人	2,000人	4,000人	50万人	700人	3,500人
年間報酬総額(手当含む)	—		—			24億円	72億円
1人当り	73万円		数十万円			350万円	210万円

出所:比較地方自治研究会「欧米における地方議会の制度と運用」「ヨーロッパ各国の地方自治制度」「英国における地方議員と地方行政」「ドイツ地方行政の概要」「大韓民国地方行政の概要」「スイスの連邦制度と地方自治のあらまし」、総務省「諸外国の議員定数・報酬」、「The Book of the States 2005」、「Tabulated Data on City Governments」、伊東弘文「ドイツの自治体議会」をもとに構想日本が作成

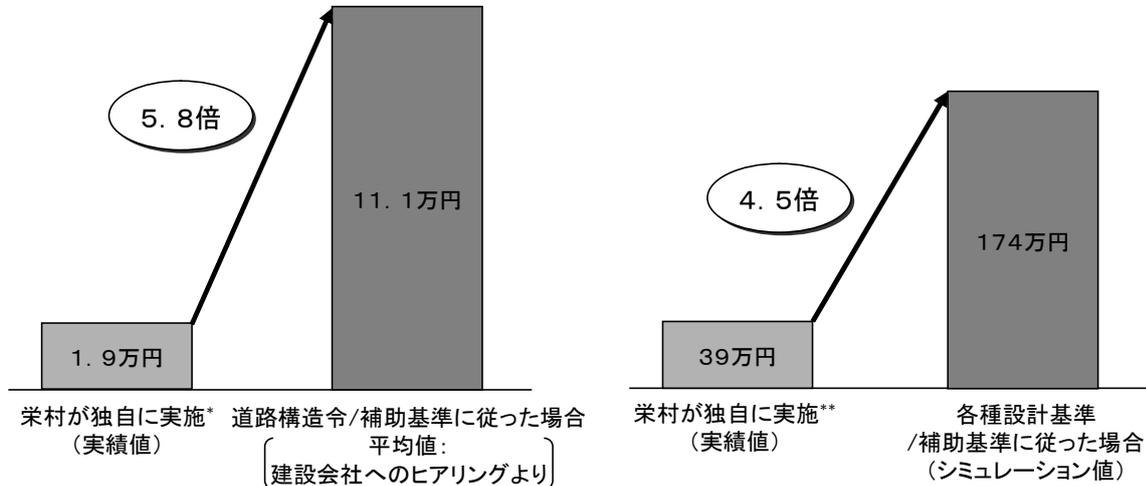
むらやま市民討議会参考資料 2-1

INITIATIVE  
構想日本

独自の事業執行によるコスト削減  
公共事業の単価比較(長野県栄村の事例)

道路建設(1m当たりの単価)

農地整備(10a当たりの単価)



国の基準に従うと、5~6倍もコスト高!?

- 道路建設の場合、栄村の負担額と比較しても約3倍のコスト高(補助率50%)。

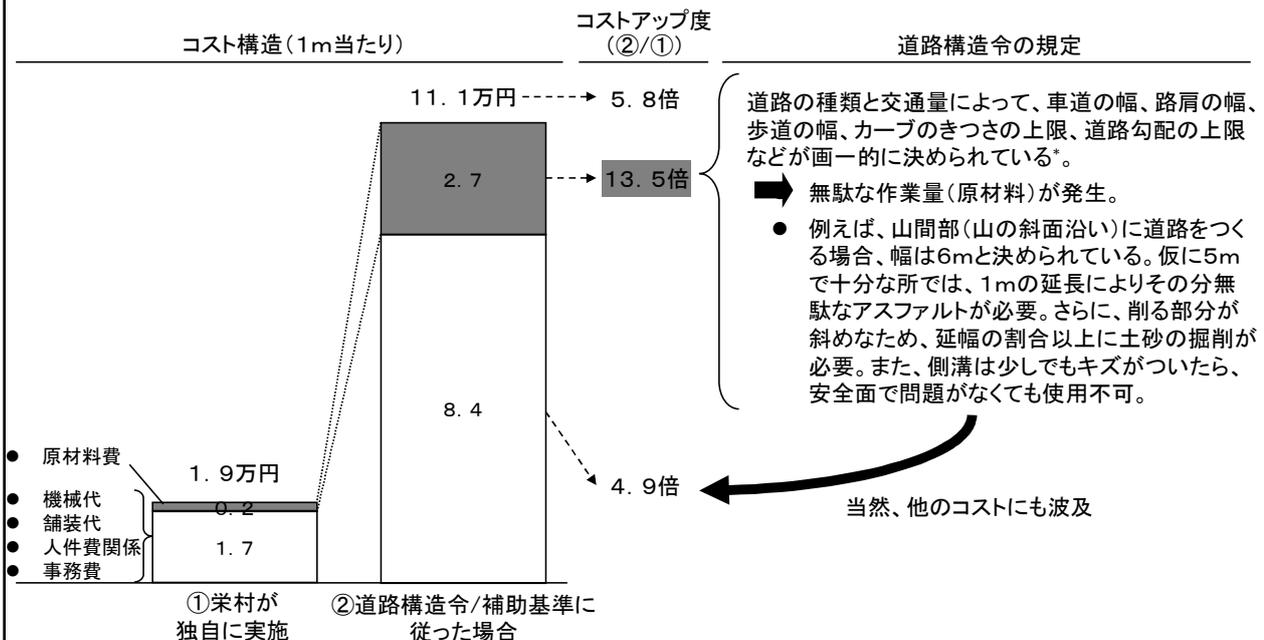
\* 幅員2.5~5mの道路を舗装。なお、補助金の対象は、「公共性、緊急性の高い重要な幹線市町村道等(原則2車線以上)」とされ、栄村の事業はその基準に該当しない。  
\*\* 1ha未満の整備が中心。なお、補助金の対象は、国庫補助の場合「5ha以上」、県単独補助の場合「1ha以上」となっており、栄村の事業はその基準に該当しない。

むらやま市民討議会参考資料 2-2

INITIATIVE  
構想日本

国の基準の何が、コスト高を生むのか?

コスト要因と国の基準との関係 (道路建設のケース)



\* ただし、「小区間特例」に該当する場合は、暫定的な措置として、決められた規格よりも劣る設計を採用してもよいとされている。  
注: 各コストの内容は以下の通り。「原材料費」: 工事に使用する材料・用具、「機械代」: ブルドーザーや掘削機、ワゴン車・作業車などの費用、燃料代(重機運搬費含む)、「舗装代」: 測量を含む舗装、「人件費関係」: 職員給与、労働者賃金、保険、複利厚生費、「事務費」: 事務用品、通信、仮設材賃借料など。なお、②「補助基準に従った場合」の「8.4万円(原材料費以外のコスト)」には、発注先業者の利益も含まれる。

## 武蔵村山市議会について

**議員定数** 20名 任期4年

**議員報酬** 月43万5千円、ボーナス総額 4.65ヵ月×1.2(役職加算)

- ・ 議長・副議長・監査委員、一部事務組合議員になると、年数万円から月数万円加算されます。
- ・ 政務調査費 月1万円(報告書の提出、領収書の添付義務あり)

※税務上、議員活動等で一切経費が認められません。当然の事ながら、住宅手当を始めとする各種手当でも一切出ません。また、議員共済掛け金(市町村合併で、運用が苦しくなっています。)、当然所得税も引かれます。兼業している私の場合、手取りは、29万8千円です。ここ、10数年下がる事はあっても議員報酬は上がった事はありません。

**市議会の会期** 3月 6月 9月 12月の年4回定例会が開かれます。

会議時間は、午前9時30分から午後4時30分までです。正午から1時までには休憩時間です。また、1時間に15分程度休憩があります。時間が足りない時には会議時間の延長をします。夜中までかかる時もあります。

### 一般的な定例会の流れ

**定例議会初日** 日程は2日取ってありますが、大体1日で終わります。

1. 市長報告・・・市長から前議会からの市長公務の説明や、市政の報告が行われます。入札結果なども報告されます。
2. 監査委員報告・・・議会選出の監査委員より、1ヶ月毎の監査の報告が行われます。
3. 議会運営委員会報告・・・定例会の会期、また、委員会に付託する議案、本会議で審議する議案の割り振りなど、議会運営委員会の報告を行います。
4. 議案審議

**一般質問**・・・各議員が市政について問い質します。4日間

#### 武蔵村山市議会の特徴

- ・ 一問一答方式
  - ・ 基本的に質問回数制限無し。一応、会議規則上は2回。
  - ・ 基本的に質問時間の制限無し。(概ね2時間程度にするようにと申し合わせています。)
- ※ 各地で議論されている議会改革が、武蔵村山市は数十年前から実現していると言えます。

**常任委員会** 3日間

総務文教委員会、厚生産業委員会、建設委員会の3つの委員会に分かれています。議員はそれぞれ一つの委員会に所属します。

## 武蔵村山市議会の特徴

委員会で審議される内容は、新設条例・請願・陳情と建設委員会での道路認定となっています。そのため、請願・陳情の審議が主となります。逆に言うと、武蔵村山市議会ではほとんどの議案が本会議で審議されるため、個々の議案に対して各議員が積極的に審議に参加する事が出来ます。

### 最終本会議

- ・ 各常任委員会の報告
- ・ 追加の議案の審議
- ・ 意見書の採択

※上記の会議の合間に、都市計画審議会などの審議会、温泉活用まちづくり委員会などの特別委員会、市が各種計画を説明するための全員協議会が開催されます。

3月議会には、予算委員会、9月議会には決算委員会が加わります。

予算委員会 4日間 全議員 翌年度の予算を審議します。

決算委員会 3日間 例年13名程度 前年度の決算の審査をします。

### 議会の休会中は？

定例会以外の議会の休会中は、ゴミ処理など他市と共同で行っている事業（一部事務組合と言います。）の議会、議会報編集委員会、行政視察などが行われます。また、定例会の2週間ほど前に一般質問の通告などがあり、定例会の前から実質的には議会が始まっていると言えます。

### その他 武蔵村山市議会の特徴

・一人会派を認めている・他市などでは、3名以上の会派でないと議会運営委員会に出席出来ない事例が多い。武蔵村山市では、一人会派でも議会運営委員会に入れるため、政党などに所属していなくても存分に活動する事が出来ます。また、議会運営委員会は全会一致制になっているため、安易に多数決で決する事はありません。

以上のように、武蔵村山市議会は、たった一人でも議会活動が保障されている上に、活発な議論が出来る仕組みを持った大変先進的な議会です。にもかかわらず、4月の市議会議員選挙では立候補者が定数と一緒だったため、無投票当選となりました。

議会運営自体は先進的であっても、気軽に立候補できる環境には無いのかもしれませんが。

## 武蔵村山市議会議員選挙 無投票当選について

平成 19 年 4 月 22 日 執行の武蔵村山市議会議員選挙において、立候補者と議員定数が同数だったため、全員が無投票当選となりました。なぜ、無投票になったのでしょうか。

### 1. 選挙への立候補の困難さ。

#### 例 わかりづらい、公職選挙法の運用

もし、選挙に立候補しようと思いついたとき、あなたならどうしますか。

1. 「市議会議員選挙に立候補します〇〇〇〇です。」と政策を書いてビラを配る。
2. 自分の名前を書いたノボリを立てて、市議会選挙に向けての演説をする。
3. 選挙で応援してもらうために、近所を挨拶回りする。

以上のようなことをすると、選挙違反で逮捕されるかもしれません。

なぜなら、選挙運動は、選挙期間中のみ許されており、事前活動は違反になります。

#### 選挙には独特のノウハウが必要

例えば、こうすれば、多分、逮捕されません。

1. ○△党では、〇〇〇〇さんの推薦・公認を決定
2. 自分の名前を書いたタスキにする。
3. 何かの名簿を持って挨拶まわりする。「選挙でお願いします」とは絶対に言わない。

公選法の運用は、選挙の度・地域によって運用が違います。その地域の選挙事情に詳しくないと何一つ活動出来ません。当選はおろか立候補にたどり着けません。

公職選挙法の運用だけでなく、煩雑な立候補書類の作成や、ポスター・はがき類、街頭宣伝車両など細かい仕様が決められています。

### 2. 市議選直前での市議会の定数削減

地方自治法では、武蔵村山市議会の定数は 30 名以内となっております。定数削減で市民の立候補意欲が減退したのではないのでしょうか。

### 3. 無投票は、武蔵村山市だけの問題ではない。

選挙寸前まで、隣接自治体の東大和市・昭島市も無投票になるのではと噂されていました。東大和市も昭島市も寸前に立候補者が出たので無投票は回避されました。

しかし、定数 24 名の昭島市の場合、24 番目の候補者の票数が法定得票数に達しなかったため、落選となりました。昭島市は、来年の市長選挙の時に市議会議員の補欠選挙を行う事になります。

ちなみに、市議会選挙無投票により、武蔵村山市は選挙経費を 3631 万円使わずに済みました。

2007年9月26日

ご参加の皆様へ

社団法人立川青年会議所  
きづく・たちかわ委員会 委員長 金子 幹広  
武蔵村山委員会 委員長 三浦 哲

## 「wellvoice むらやま市民討議会」ご参加御礼

謹 啓 秋冷の候、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

先般、開催されました「wellvoice むらやま市民討議会」へのご理解、ご出席を頂き、誠にありがとうございました。自由活発なご討議を頂き、多くのご意見をいただくことができましたこと、御礼申し上げます。

今回のテーマから、議会の側からはなかなか発言できないようなことや、「議会の内部の論理」を変えていくためにも、市民の側からより多くの意見を挙げていくことが今後も必要なのではないかと思います。また、情報提供者ならびに傍聴として現職の市議の皆様にお越しいただき、市民の皆様のディスカッション発表を意見を目にさせていただいたことは、今後に向けての一つの成果と考えております。

今回の結果についてはまとめ次第、あらためてご報告をさせて頂くと共に、行政・議会・マスコミ等に公開していきます。また、単なる提言に留まらず、討議で得られた意見の集約から、私達青年会議所としても課題の解決実現に向けて「何をすべきか、何ができるか」を考え、今後の運動における指標としたいと考えております。

この「wellvoice むらやま市民討議会」はすべてが我々の手作りであるが故、設営面等で多々至らない点がありましたこと、この場をお借りいたしましてお詫び申し上げますとともに、今後もこのまちな様な課題などをテーマに挙げ、明るい豊かな社会を実現していくためにも、先行して実施しております「wellvoice たちかわ市民討議会」とともに、引き続き開催していきたいと考えております。

ご参加された皆様がこの武蔵村山の市政・まちづくりにますますご関心をお持ちいただくとともに、より多くの市民の方が地域社会に参画する契機となるよう、皆様方のご意見を頂きながら、より素晴らしい「wellvoice むらやま市民討議会」にしていきたいと考えております。今後ともご支援、御協力の程宜しくお願い申し上げます。

この度は、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

謹 白



2007年12月10日 発行

編集 社団法人立川青年会議所  
きづく・たちかわ委員会

委員長 金子 幹広

副委員長 小菅 岳

幹事 落合 成治

委員 青木 洋輔

猪股 健一

大石 博巳

大島 亮

岡部 雅彦

岡山 昭

小澤 清富

尾上 研児

織原寛一郎

北島 宏晃

酒井 大史

田中 健一

並木 益身

西岡 寛泰

新田 晃一

肥後 和志

森川 亮

地区長 矢島 伸宏

副理事長 端 晶弘

発行 社団法人立川青年会議所  
東京都立川市曙町 2-38-5  
立川ビジネスセンタービル 12階  
TEL042-527-1001 FAX042-527-6600  
www.tachikawajc.or.jp

©Tachikawa Junior Chamber inc., 2007

禁無断転載